京城日報

定價 壹ヶ月七拾五錢　發行兼編輯人 奧山直　印刷人 小川三之介　發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

八月二十二日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇烏蘇里敵兵一萬

極東勞兵會戰爭決議

哈爾賓所着電＝ブラゴエチエンスクに開かれし極東勞兵會は過激主義の爲め戰ふ旨決議せり又同地にありしマヂャール人は全部烏蘇里方面に向へり烏蘇里方面の敵兵力は約一萬乃至一萬二千にて更に後貝加爾方面より約三千の增援を得たるもの、如し（東京特電）

◇敵軍騎兵上陸

カーソンルイバロフ（ニコリスクの北方ハンカ湖畔の要都）附近に現はれし敵艦隊は同地附近に騎兵約四千五百砲二門を上陸せしめ其後ムチナーヤに向ひ前進せるものの如く同地西方約十五露里の地點には既に敵斥候軍ありと（東京特電）

◇ペ市食料暴動

戒嚴令布かる＝暴徒討獨絶叫

ペトログラードに食料暴動起り首魁者以下百名捕縛死刑に處せられ同時に戒嚴令布かれたるが其の際暴徒は獨逸を倒せと叫び軍隊と大衝突せり（アムステルダム電報）

◇過激派首領獨艦潜伏

レニン、トロツキーはクロンスタット港內の獨逸軍艦內に潜伏せりと傳へらる（アムステルダム電報）

◇重大問題一致點

獨墺兩帝會見公報

海牙來所着電＝北獨日報は獨墺兩帝會見に就き公報として左の件を掲載せり（ヘーグ電報）

兩帝の會見は政治上、軍事上の問題に就き双方重大なる一致を新にし同盟に忠實なる解決を確定したるが此際兩國の軍事首腦者に効果ある協議遂げられたり

◇佛戰線攻擊進出

巴里發電＝佛軍は二十日拂曉オアーズ、エーヌ兩河間戰線の攻擊を爲し前長二哩の進捗をなし又佛軍は同方面にて六日以來強行進出をなしピカーデー、エーヌ兩河の戰線より敵を撤退せしめたり（合同通信）

◇伊艇墺船擊沈

伊國潜航艇は墺國クオルネロ灣にて同國の大汽船に水雷を發射し之を擊沈し無事根據地に引揚げたり（羅馬電報）

◇交戰承認と各國

廣東政府より交戰團體承認を聯合國に要求せるも各國の態度未だ決定せず日本も亦考慮中にて決定に至らずと傳へらる（上海特電）

◇鹽稅準備流用拒絶か

既報支那出兵費用として鹽稅準備金流用申込は結局公使團より拒絶さる可しと觀測さる（北京特電）

◇後藤外相訓示

西伯利經濟援助委員に對し

既報西伯利經濟援助委員に對する首相の訓示後更に外相の訓示ありたるが其要旨左の如し

帝國は西伯利の制度顛覆露人の窮困に對して同情を惜しまず聯合與國と共に之が恢復に就き考慮を廻らし居りしがその事務の性質より委員會を設け各方面より調査研究を遂げ適當なる援助方法を執る事とせり露國の崩壞と窮厄とに對する帝國の同情は隣邦の情誼のみならず帝國傳來の正義人道の發現に外ならず雖全なる露國の再興を企圖する以上西伯利を拯ひ之れを以て露本國に及ぼす當然なすを良計とす西伯利救援の爲め急務なるは秩序恢復必需品の供給にて新に救世軍たる我チエック救援軍は既に出動せり帝國の四海兄弟主義に據る眞面目を隣國民の胸底に理解せしむる爲め各位は各方面と聯絡を執り適當の策を講ぜられんことを希望す（東京特電）

◇西伯利亞經濟援助委員會委員任命

男爵目賀田種太郎氏は今回臨時西伯利亞援助委員會委員長仰付けられたるが右の外委員として木下鐵道院理事、神野理財局長、田中主計總監等官民側より七名及び民間側よりは水町袈裟六、貴族院議員井上匡四郎、早川千吉郎、中野武營、川上俊彦、美濃部俊吉、梶原仲治の七氏仰付けられたり（東京特電）

◎昌德宮午餐會

李王殿下には二十三日午後零時半より宇都宮軍司令官、高島第十九師團長、內野第四十旅團長、兒島警務總長、村田總督附武官等各新任武官を招待し昌德宮に於て午餐を催さる可く長谷川總督山縣政務總監及び副官秘書官等も列席す可し

◎辭令

今回左の通り辭令ありたり

司法官試補 川西文夫
同 山口信正
同 荻昌德
任朝鮮總督府判事（七等） 桐原貞一
任朝鮮總督府副醫官（七等）

◎總督邸晩餐會

既報の如く長谷川總督は二十二日午後六時より官邸に於て宇都宮軍司令官、高島十九師團長、兒島警務總長、內野四十旅團長、白石參謀長等新任各武官紹介の爲め晩餐會を開きたるが主人側よりは總督を始め山縣政務總監以下國分、宇佐美、持地、鈴木、小原の各長官、關屋、荻田、人見各局長、久水、村田、新田各課長、渡邊法院長、中村檢事長、豐永所長、芳賀院長、坂出技師、釜屋、村田兩武官、齋藤、大島兩副官、福田秘書官及び市川軍參謀長、廣瀨主計監、佐藤軍醫監、野津、大沼兩副官等出席せり

◎上半倫敦金融

朝鮮銀行入電

倫敦出張中の水間鮮銀司事の十六日發電によれば

○金利 八月上半期に於ては逼迫せる金融市場は月末に近づくに從ひ漸次緩和せられ『コール、マネー』は三分乃至三分五厘を往來し銀行手形の割引率は三分五厘なり

▲株式活況 有利なる戰報に刺戟せられ株式市場は投機取引活躍を呈し爲に相當多額の資金此方面に吸收せられ七月十五日相場五十六磅一志三片を唱へたる『コンソル』公債今や五十七磅となり一流英國證券は一般に高騰の傾向を有す

▲印度省證券 の相場變化なきも提供相場の如何に拘らず普通請求者は之を買取ること出來ざる狀態なり

▲銀塊相場 英國政府は銀塊相場の最高價格を定め四十八片十六分の十三とせり

▲增稅 九月一日以後の小切手は倍額を賦課することに決定せり

▲爲替相場 紐育向11四、七六七五、巴里向二六、九八、伊太利向三六、〇〇『アムステルダム』向九、二八

◎鮮銀券膨脹と米買占問題

發行の增加原因は財界の發展

朝鮮銀行當局者談

這般朝鮮銀行券の膨脹を以て米の買占資金放資に關係あるが如く風評する者あり右に關し同行當局につき膨脹原因につき眞相を確めたるに大體次の如し

▲發行新記錄 鮮銀券最近の發行高は六千九百六十萬圓を示し昨年の最高記錄たる六千八百十一萬圓に比して尚百四十九萬圓を超過し同行創立以來の新記錄を作れり

▲財界の膨脹 然れども鮮銀券の膨脹は時局以來の趨勢にして是れ經濟界の發展と同行營業地域の擴大に伴なふ當然の結果にして本年の膨脹も亦前年來の大勢に從つて發現したるに過ぎず即ち大正四年には千二百五十三萬圓大正五年には千二百二十三萬圓大正六年には二千七十三萬圓を增加したるを見るも略此趨勢を察知するを得べく之を本年に於る特殊の現象なるかの如く考ふる者あらば是れ大なる誤見と謂はざるべからず

▲銀行券の消長 尚ほ同行發行高消長の狀況を各月に就て見るときは每年一月以降五月に至る五箇月間は發行高漸少期にして六月以降年末までは發行高漸增の時季にあるを常とす故に今や既に發行高の增加の季節にあるを以て其發行高の漸增するは豫期し得べき現象にして決して怪しむに足らざるなり試みに大正元年以降各年の八月一箇月間に於る同行券の膨脹高を見るに左の如し

元年	百五十七萬三千圓
二年	三十三萬八千圓
三年	八十三萬圓
四年	七十二萬五千圓
五年	二百十六萬[illegible]千圓
六年	三百三十七萬圓
七年	三百九十八萬圓（十七日迄）

右表に依れば本年八月（十七日迄）の膨脹高は三百九十八萬圓にして例年に比し稍多額なるは爭ふべからざるも之れ必ずしも同行の貸出の增加に起因するものにあらざるなり

▲貸出の增加 聞く所に依れば同行の八月一日以降の貸出狀況を見るに其增加は僅に百三萬圓に過ぎずして即ち發行增加額三百九十八萬圓の內貸出の增加に原因するものは僅に二割六分にして其他は主として預金の減少、爲替の支拂等に基くものとす尚右貸出增加額百三萬圓の內容を聞くに同業者に對する貸出四十一萬圓棉花及び鐵の買出資金として其餘の二十萬圓は綿絲布、雜貨等の輸移入商品及び米穀等の生產品に對する小口の貸出なりといふ

▲通貨膨脹眞因 依是觀之最近鮮銀券の膨脹は鐵及棉花等の商業方面の好況に基くものにして米の買占問題に關係あるが如く觀察するものあるは甚だしき誤見なりと謂はざるべからず

◎鮮銀總裁演說（二）

＝於株主總會＝

▲當行業務概況 從來橫濱正金銀行の取扱に係る大連本金庫事務は昨年十二月三十一日を限り當行に移管を受け同時に同金庫所屬の支金庫若は派出所として其事務を取扱たる同行の四支店を讓受くることに決したる次第は既に前季に於て之を報告したる處にして本年一月官施と同時に當行は新に旅順、遼陽及鐵嶺の三出張所を開設し又郭家屯は昨年十一月開通せる四鄭鐵道の終點にして蒙古に對する我商權擴張の要衝たるを以て三月同地に出張所を設置し次で四月上海の支那經濟上優越なる地位なるに鑑み右滿各店と務の培養並爲替決濟の必要上同地に支店を開設したり即ち當季中の當行新設店は一支店四出張所合計五店の多きに達し斯くて當行の營業所總數は本店の外三十三を數ふるに至れり

▼預金及貸出金 當季末の預金は總額壹億貳千四百九十九萬八千七百九拾圓を示し之を前季末に比すれば參千六百五十八萬五千四百十八圓前年同季末に比するときは七千七百十六萬五千五百九拾貳圓を增加し又當季末の貸出金は壹億五千四百四十六萬九千五百七拾六圓にして前季末に比し參千六百八萬四千八百圓前年同季末に比し八千八百拾六萬八千八百五圓の增加なり斯の如く兩者增進の勢著しく共に未曾有の額を示せるは一般財界の好勢に乘じ業務の亦順調なる發達を爲せしに因り而して當季末の當行取引先貸數は預金壹萬六千貳百七拾貳名貸出金壹千百九拾壹名總計壹萬七千四百六拾參名を算し內支那人壹千拾壹名露國人八拾名あり尚支那債款の引受は日支親善を實現せしむる爲必要なりと認めたるを以て當行は同國の開發上緊急なるものを選びて之に應ずるの方針を採り來りしが本季中契約の成立を見たるもの第三次奉天財政廳借款を始め合計四口に及べり

▼外國爲替賣買 外國爲替は本季に入りて頗る著なる進捗を爲し賣爲替に於ては壹千九百四拾八萬參千百參十圓買爲替に於ては四千六百五十九萬六千に於ては四千百に達し之を前季の取扱高に比すれば前者に於ては四百十五萬貳千餘圓の增加に過ぎざるも後者に於ては貳千六百六十餘萬圓の激增を示し從て輸出貿易の旺盛なる狀態を呈するに至れり是れ當行營業地區に於ける對外貿易の伸張に策應する當行の對外業務擴張に伴へるものにして當行の海外銀行たる職責上外國爲替は將來益重要なる業務たるに至るべし

▼銀行券發行業務 當季の銀行券發行高は一月四日に於ける六千七百六十八萬貳千六百五十六圓五十錢を最高とし五月二十四日に於ける五千七百十五萬四千貳百九十壹圓九拾錢を最低とす而して季末に於ける發行高は六千貳百五十壹萬六千參百十圓五拾錢にして前年同季末に比し貳千貳百六拾貳萬貳千五百貳十七圓五十圓の增加を現はせり如斯は一般財界の好況に伴ひ取引の增大せるに因るは勿論なるも又滿洲に於ける金券統一後當行券流通範圍の擴張せられたるに基因するものにして殊に季初以來斷えず七八百萬圓の制限外發行を見たれども本年三月朝鮮銀行法の改正ありて當行の保證準備發行限度を五千萬圓に擴張せらるゝに及びて制限外發行を見ざるに至れり

東京だより

臺閣の進退

八月十九日午後三時　東京支局にて　白鐵

▼今次、國內の騷擾は實に天下の不祥事也。而してその紛々擾々の間、最も特色あるの一事は、所謂特殊部落民の妄動也、暴動也、或はその殆ど豫定の企畫とも認むべき陰辣にして執拗なる行動也。京都、大阪、神戶、名古屋、悉く然り。十五日の夜、十六日の三重の亂擧の如きに至りては暴狀言語に絶す。その殘忍酷虐、掠奪、放火、毀壞も假借せず、狂亂度無く、遂に國民と最も親密なるべき軍隊の銃鋒を煩はすの不祥事を醸すに至れるは實に彼等一團の爲すところ也。

▼所謂特殊部落民は、古來、卑賤自から處り、其間所在の犯罪者を收容隱匿して、自から遺傳的に犯罪性を馴致し、而も累積せるの富を抱いて、白眼世を狹くし、敢て猖介、異種族の觀を爲す。誠に爲政家の慎重考察す可きの事に屬す。而して若し、今假りに、政權の爭奪に急にしてまた手段を選ぶの暇無く、遂に觸る可からざるの鐵鎗に手を觸れたるものありとせば如何。而してその結果、爆發錯落、事態を收拾す可からざるに至らしめたるものありとせば如何。

▼吾人は、苟くも國士を以て任ずるもの、擧手投足、儼然として國家の和平と國民の幸福とを損せざらんことを心掛す可きを知るが故に、必ずしも此事なきを信ぜんと欲すと雖も、若し夫れ、敢て之をなしたるの不逞の謀跡歷々たるものありとせば國家は猛然として此輩を排除するに俟躇を殘さざらんことを要す

▼現時、世上、或は今回の事を以て、猥りに當局の進退を云々するもの無きに非ず。吾人は當局者がその當面の責任に顧み、敢て眠々者流の言議に惑はず、勇猛精進、此の騷擾後の處置を策し、不良の徒を檢擧するに遺憾なく、以て、上聖明に應へ、下、國民を安んずるの擧に出づるの急務なるを知る。

◇米暴動と內閣

何ぞ辭職の要あらん

政爭の具に供せんとする政黨者流の言

某閣僚談＝今回の騷動に關し政府が責任を負ひ辭職す可しと稱ふる者あるも這は暴動問題を政權爭奪に利用せんとする一部政黨者の流言に過ぎず騷動問題は米價騰貴と成金連に對する勞働者階級の反抗に因れるものにて政府の施設當を得ざる結果のみと言ふ能はず政府は極力調節に努力し米價昂騰の氣勢を抑制したり恐らく何人が責任の地位にあるも到底免る能はざる現實なりしならん故に政府は之れが爲め責任を負ひ妄りに辭職するの要を見ず（東京特電）

◎殖銀拂込み終了

朝鮮殖產銀行第一回拂込は二十日なりしが各地を通じ大部分は同日拂込みを終りたりと

◎東洋畜產拂込期

資本金二百萬圓の東洋畜產會社は既に總督府より會社令の許可を受け東拓關係事業なるより拓殖局の承認を必要とするに付該手續きも一兩日前終り來る二十七日株式引受け豫約者に對し證據金の拂込を徵し更に九月十四日第一回の拂込みをなさしむべしと

◎雲山送電問題

九龍江水電許可

平安北道雲山金鑛にては從來電力の供給を受けつゝある新安州大倉發電所との間に大正七年十月を以て滿了する電力供給契約の改訂の交涉料金の點に於て纏まらず結局雲山金鑛は平北九龍江の水力電氣により動力の自給をなすべく事業を計畫し遞信局に認可申請中なりしが當局にては調査の結果最近認可の指令を與へたり依つて雲山金鑛は今後發電設備をなす豫定の由

▲見解の相違 右の結果大倉發電所は安州並に新安州に對する送電のみにては收支全く引合はざるを以て多分撤去の事となるべきが目下金鑛側と大倉側との間に契約期限の點にて解釋を異にし訴訟中との事也右に付聞く所によれば該契約は英文にて文面の直解による時は千九百十八年十月乃ち來る十月を以て滿了することあり、爲に大倉發電所は該期限の滿了後直ちに送電中止を鑛山側に通告したる所鑛山側にては漸く最近水電の認可を遞信局より受けしのみにて今後發電設備を加へんとするには少くも七八箇月の日子を要し若し來る十月限りを以て大倉組より電力の供給を絶たれんか採金操業休止の止むを得ざるに立至るより金鑛にては契約の解釋に英文の慣例を持ち出し千九百十九年十月まで契約有効なりとの申し出であり雙方下らず結局法廷にて黑白を爭ふ事となれるものなるが若し一方敗訴の場合は控訴上告を重ぬるに至るべく來る十月末までに高等法院の判決を受け得るや疑問なるべしとて其成行きは國際關係の色彩を帶べる爲各方面より注目されありと

◎軍司令官南巡

軍司令官宇都宮中將は南鮮部隊巡視のため山本小野兩參謀及び古城副官を隨へ來る廿六日午前八時五十分龍山驛出發の筈なるが巡視日程は二十七日鎭海灣重砲兵大隊並に京城衛戍病院馬山分院同廿八日は鎭海灣要塞司令部同三十日は步兵第八十聯隊及び大邱分院同九月一日は同第八十聯隊第三大隊及び大田分院を巡視すべく二日龍山着歸任の豫定なりと

東邸小草（二）　今關天彭

歸省口占

緑楊森沈月欠生。門前野水若蛙聲。終宵膝下話依舊。話盡三年寒暑情。

竹越三叉招飮席間

菁漿[illegible]情何遠。官衙名場夢已悚。第一人間得意事。薔薇花底讀仙書。

訪藤田劍峯

新緑如山潤知縮。亂生野竹不成行。讀書萬卷入將老。恨使英雄臥草堂。

贈器堂博士

香來西域幾江山。名在儒林文苑間。一笑先生多事極。愛人家國皆毛斑。

人事消息

▲宇都宮朝二郎氏（遞信技師） 第三豫選丸檢查の爲め安東に出張を命ぜらる

▲植木秀幹氏（水原農林專門學校教授） 森林植物に關する植物學研究の爲め九月五日より二箇月間東京帝國大學理科大學及農科大學に出張を命ぜらる

▲山口武氏（日本運送社長） 二十二日朝退京

▲山口啓吉氏（山口合名社長） 同上

▲水谷平壤鑛業所長 內地より廿二日朝釜山直に北行（釜山特電）

▲井內勇氏（鮮銀調查局長） 二十二日午後九時四十分南大門驛發ハルピンへ

茶前酒後

◆西伯利亞行動の各軍中、日本軍に次いで勇敢なるは、チエツク、スロヴアツク兵也。最近に於ける、彼等の勇敢なる一例を示さんに。某戰鬪に於て、同軍の偵察兵六名が、不幸重傷を負ひ、其進退に窮するや、一同は車座を作り、一人の座中に投じたる爆彈の爲、六名共木ツ葉微塵となり、天晴れ屍を馬革に包みて、軍人の本分を全ふし、其の最後を輝かせり。嗚呼何たる壯烈ぞや。

◆又某戰鬪に於て、チエック軍の一大隊長は、敵の退路遮斷を命ぜられ、鐵道線路に爆藥を裝置せんとせしも、不幸其目的を遂ぜず。敵の武裝列車は、迅速に北方に退却せしより、大隊長は此の重任を果す能はざるを、非常なる失態となし、其責を思ふて、美事に自刄して死せり。嗚呼何ぞ其意氣の盛んなる、洵に同軍の誇とするに足るべし。

◆此の勇敢にして、士氣旺盛なるチエック軍の助太刀をなすに、天下無双の精兵あり。馬をハバロフスク街頭に立つるの日は、蓋し遠からざるべし。

◆肺結核及び二三疾病の、高空療法は、夙に各國醫界の一問題たり。英國に於ては、其の効果研究の爲め、醫員を愛して飛行機に便乘せしめ來して之が有効を證するに於ては、戰後不用となるべき、多數飛行機を利用し、盛んに空中病院の開設を計畫すと。航空の事業に於ては、洵に以てお恥かしきは日本也。米騷動にて、少しく目を覺したる成金連は、せめて罪滅しに、此の方面に注目せよ。

◆金力を以て、全能全勢と思ひ、黃金の前には、總てのものを屈服すべく、誤解したる憐れなる成金共も、今回の米騷動に於て、彼等は威力の前には、黃金萬能主義も、何等の價値なしと、始めて迷夢より醒せしなるべし。果して實際覺醒せしとせば、先づ以て其の罪の幾分は脫るべし。

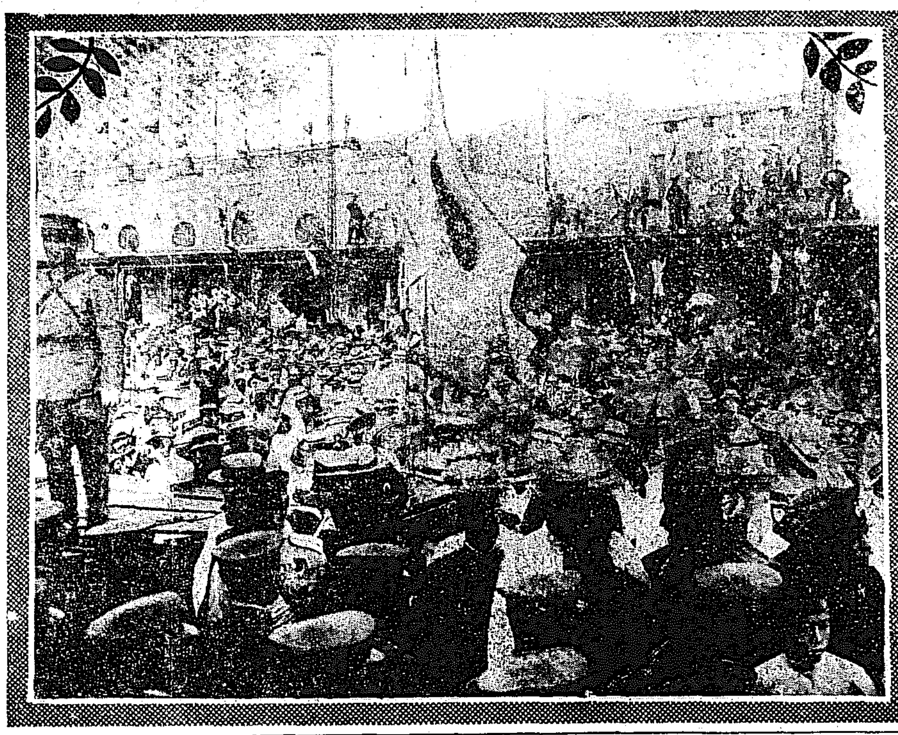
八角鋼、黑鉛用金網、鎔鑛物製作
土工用具並ニ建築金物
△地方御注文は迅速に御便宜取計り可申候
△商報御入用の節は御一報被下候はば直に御送附可申上候
直輸入商　京城本町一丁目
佐野彥藏商店
電話一六三番、振替京城二一〇番

少年少女の讀物
お待兼のお伽噺イヨイヨ出來!!
五百部限り特價二十錢（買ひ切れぬ內御購求あれ）
八嶋柳堂著　古賀紀雄畫
教訓お伽噺
新美本入　二百七十頁　定價三十五錢
◆それはく　お面白いお伽噺
◆それはく　悲しいおとぎ噺
◆それはく　お爲になるお伽噺
販賣所　大阪屋號　巖松堂　日韓書房
發行所　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報代理部

◇サツポロビール第一回懸賞廣告當選

石鹼貳割値上
原料暴騰の爲め止むを得ず
値上實行仕候
大正七年八月廿二日
京城石鹼製造業組合

大正七年七月一日改正現行



◇熱狂して我軍を迎ふる哈爾賓の日露支官民

□兩陛下還幸啓
聖慮、拜察するだに畏し
深く時局を御軫念あらせらる

天皇皇后兩陛下には二十一日午前十一時十分上野驛着御、還幸啓あらせらる（東京電話）右につき正親町侍從長は謹嚴なる語調にて語る「陛下には日夜萬機を御親裁あらせられ重要政務に關しては晝夜を分かたず國務大臣の奏上を聽かせらる、等

◇國務に御熱心なることは◇
實に申すも畏き次第なり御用邸にては僅に御政務の御暇々を利用して御催見、御散步等に御心を慰めらる、位にて日常の御生活は東京に在らせらる、も日光に在らせらる、も少しの御變りあらせられず今回の騷ぎに就ては新聞其他國務大臣の奏上により

◇審に御承知ありて御軫念◇
深くあらせらる、ことは自分の改めて申すも恐懼なる事なり殊に日光行幸啓の仰せ出は再三日延ありしに今回又俄に還幸啓あらせられしは東京に於て殘暴猶熾しき折柄一層恐懼に堪へざる次第也」

◎關西が最も激しかつた
◇……今度の米騷動
三府一道三十縣に及ぶ
平穩だつたのは山陰道と九州南部だけ

今回米價騰貴に關する大騷擾は八月三日午後七時富山縣中新川郡西水橋海岸の漁師の女房連二百許りが「命を繋ぐ米を與へよ」と

△金切聲で 叫び出したのが津々浦々に波及して、十一日夜京都名古屋が先づこれに應じ、初めは大人しい廉賣の哀願から米屋の脅迫となり、遂に鐵拳、投石、棍棒、短銃、掠奪と發展し、最後の手段として富豪の燒打となり、警官の援助軍隊の出動と迄なつた

△地圖の上 で辿つて見ると、日本國中では關西地方が最も激しく、大阪神戸京都名古屋の各市内は、勿論郡部が皆之れに共鳴した、大阪以西では兵庫、岡山廣島山口各縣下の市郡を始め四國では愛媛香川高知に起り九州では福岡佐賀長崎と擴がつて居る

△近畿地方 では、滋賀和歌山三重奈良の各縣下が猛烈な騷擾、中部地方では愛知岐阜長野靜岡山梨の全部に亙り、關東へ來ては東京を中心に、神奈川埼玉の各縣に飛火し又東北地方では宮城縣の仙臺を筆頭に、福島へ戻り遂に

△津輕海峽 を渡つて北海道は函館と札幌に飛んだ更に烽火を擧げた北國は富山、石川、福井新潟と全部に亙つて猛烈驚くべきものがあつた次に暴動地中の不祥ながら軍隊の出動を見たのは東京大阪、京都、名古屋、神戸、靜岡、呉、和歌山、福岡、門司、松山、岡山、福山、尼ケ崎、津、甲府、福島、若松の各市で實に國を擧げての

△大暴動で ある其有形無形の損害に至つては殆ご想像以上のものがあらう此騷ぎ中平穩を極めた地方は九州の南部地方琉球臺灣と山陰地方であつた

◎各地の騷擾
◇內務省公報◇

▲山口縣 厚狹郡宇部村坑夫等は十八日沖山坑事務所を破壞せんとせしも間もなく鎭靜し午後五時東新川の劇場に放火の上各所に集團し兇器を持ち飲酒を爲すなど統率者無きも勢ひ猖獗を極め引續いて各所に放火し暴行を働きたるが同夜遂に警察署前にて軍隊と衝突し死傷者を出せり依つて十八日朝來檢擧を行ひ八十名を逮捕し坑夫の集團は宇部村山中に遁走し警察官在郷軍人青年團を以て包圍警戒中なり

▲福岡縣 峯地第二坑々夫約三百名同坑物品配給所坑務所を襲擊し商品器具類を破壞し巡査駐在所を襲ひ一旦解散せるも十八日午前二時三十分同坑安全燈置場を爆破したるが其際巡査二名負傷したり其他同坑夫は隊を組み物品配給所、事務所を襲擊し兇暴の所爲あり軍隊出動せるが是れと衝突し負傷者を生ぜり檢擧八十三件檢束八十五名に達す

▲島根縣 二十日午前一時島根縣那賀郡濱田町にて細民五百民家を破壞し米穀を散亂せしめ暴行せるが午前五時鎭靜せり

▲青森縣 米の供給を圖り鎭靜に向へり（東京特電）

◎米安賣り
▽二十一日は……
やゝ尠ない

京城救濟會に於ける二十一日扱ひ廉賣白米は石拔米六十三石三斗六升人員三千三百十一人、石不拔米に於て百二十一石五斗九升人員六千七百六十三人、外國米に在りては三十四石二斗四升人員一千七百十二人を算せり即ち外國米を除き石拔米及び石不拔米總石數百八十四石九斗五升を示し內東拓米の分は石拔にあり四十二石二斗四升石不拔米にありて八十一石六升合計百二十三石三斗を算せるものなり而して當日までの累計額を見るに石拔米二百九十三石九斗二升石不拔米六百六十四石三升合計九百五十七石九斗五升にして此の外に外國米の廉賣八十二石二升あり廉賣價格は依然石拔一升に付二十八錢石不拔米一升二十四錢外國米一升十六錢を保持せり

▽約千人に
施米した

京城救濟會に於ける施米狀況を聞くに本月十七日開始以來の累計額內地人三十三戸百三十四人にして朝鮮人三百二十七戸八百十四人合計三百六十戸九百四十八人に施米せり而して施米額は內鮮人合計米十五石四斗七升粟十五石四斗七升となり居れりと

▽閑散な小賣商 京城
にて廉賣が開始されたるにも不拘市中一般の米商人は一向に賣價を引下げざるより一般人は皆な廉賣米を買ふ結果を來し目下小賣商店には人つ子一人の影もなしと云ふ狀況にて非常なる閑散を極めつゝあり又從來の米屋の註文者の方にて米價の下落を見越したる爲め支拂の半額又は全額の停止をなす如き景況を呈し斯くして米穀商の集金は困難なるべしと觀測せられつゝあり

▽密と手を廻して
安賣米を買ふ
不埒な米屋

京城救濟會の米廉賣は一般普及の趣旨ならんも實際上制限の方法なき爲め計算高き商人等は總て家族使用人等を交代に使用し又は他人に依頼して出來得る限り一時に多量の購入をなしたるものさへある由現に同一人にて幾回となく出入したる者尠からざるを發見し昨今當の取締を加へたるが是等の中には一箇月分を購入したり等と私語するものさへありたりと

◎火藥製造所
爆發
負傷者二名を出す

二十日午後群馬縣岩鼻陸軍火藥製造所爆發して負傷者二名を出せり（東京特電）

◎邦人二名銃殺さる
出兵に惡感を增した過激派に
チタ監獄を脫出したる
橫田アンナは語る

發にチタ監獄を脫出せる橫田茂の妻アンナは十八日夜吉田と共に長春通過鄉里名古屋に向へるが同人の言に依れば日本の出兵に依りて過激派の惡感を增し南、村岡の二氏銃殺せらるゝは實に氣の毒なり然れ共阿部上納氏等は放免さるべし

◎支那人に子供を賣る
食ふに困つて

悲慘なる下層鮮人
諸物價の昂騰に伴なふ生活困難の結果として仁川地方の下層鮮人が可愛い子供を支那人に與へ多少の金品と交換したる事實あり精査の結果仁川府花平里居住船乘業金正雄（三）の實母趙氏なる者が四月中戸主金が出稼不在中金の長女なる孫一龍女（三）を外里居住支那人野菜商賈龍福（三七）に養女として與へ白米一叺（時價十三圓）を貰ひ受けたる事を突止め双方を召喚加諭の上趙氏より金十三圓を賈に返濟せしめ將來決して人身賣買の如き行をなさざるやう戒告を與へ放還したりと

◎安い安い外米が來た
仁川入港の臺東丸で一萬袋
來る廿五日の日清丸で又澤山來る

仁川救濟會では一升十六錢京城では十五錢で賣へる外米が二十二日午前三時臺東丸で仁川に著いた、大阪商船の汽船臺東丸（一、九〇〇噸）が長い〳〵汽笛に海上の空氣を搖がしつゝ

◆月明に乘じて入港す ると水上署の汽艇は先づ特に夜半の檢疫を濟ましたと同時に待ち構へた數十の艀は本船の兩舷に押し寄せて直ちに荷役に掛つた積載外米一萬袋は廿三日の午前にかけて稅關棧橋に陸揚げせられ熱汗を流す援軍の脊に負はされて一つ〳〵

◆保稅倉庫 に運搬通關手續を濟ました其一部は直ちに仁川救濟會へ配給し他の大部分は二十二日京城へ向けて發送せられたのでやつと品切から免かる、事が出來、鮮人の救助が圓滑に行はれると共に一般の需要を充たす事が出來る樣になつた尚ほ來る二十五日には汽船

◆日清丸で 殘餘の幾分か到著する事になつて居るが臺東丸の持つて來た數量は神戸から三井物產の二千袋鈴木商店の四千袋門司から三井物產の二千袋湯淺商店の三千百二十袋合計一萬一千百二十袋である

緩衝機 （投書歡迎）

南山商會主へ 新町 無神經
◆私は新町近くに住し居る者であるが、南山商會の惡臭のために苦しめられて居る、風向きに依つては京城全市に惡臭が瀰こり、場所に依つては料理屋が營業出來ぬ處があるが、市民の迷惑は一通りや二通りではあるまい、南山商會主に對しては
◆從來屢々新聞紙で移轉方を勸告したさうであるが、殆んど肯ぜられなかつた、非常識の結果非衛生的の醉は頗る高く、散步好きの某大官は鼻を抓んで『此れでは市民も遣切れまい』と言つたさうだが、今にして何とか適當の處置を取られねば、市街が段々東
◆方面に發展するに從つて亂雜衛生上由々しき大事を醸すに至るであらうと思はれる、南山商會主に告ぐ、貴商會の家族が食事中、汚穢取に大便所を掻き廻される時のやうな顏をして、市民は貴方の顏を眺めて居る事を敢て御注意申上げる

電車の地圖駄響き
●木本專務に望む●
南大門外生
◆茲に京日論說『所謂官僚制過』に曰く『吾人は大なる自由を欲するも社會共同生活の爲めには又大なる不自由を忍ばざるべからず』と至言なり
◆吾人の今言はんとする電車運轉の如き吾人に與ふる不自由の便益多大なることは言を俟たず依て吾人は忍ぶべきを忍び耐ふべきを耐ふるの覺悟は充分に存せり然しながら又會社に於ても單に營業上の利益にのみ沒せず將來の大都市たるべき京城の體面をも顧み沿線家屋の迷惑を考へ電車の改造、線路の手入、運轉手の熟練等にも少しく留意あるべし
◆吾人の如く沿線の電車線路に沿ひたるものは日夜電車の地圖駄響に惱まさるゝ事多大なり夫れ汽車にせよ自動車にせよ腕車にせよ可成地響のせざるよう乘客に乘心地の好きよう改良に改良を加へらるゝ今日獨り電車のみ地圖駄響をなして運轉せざるべからざるか是は少なくとも車體の構造粗惡なると線路の手入放漫と運轉手の運轉念の缺乏等に基因せざるべからず
◆願ふ木本專務よ一箇月にても沿線の家屋に起臥し給へ吾人の忍べる範圍の程度も諒解せらるべく併せて沿線居住各位の共鳴を乞ふ

米に霧を吹く 憤慨生
◆さしも恐ろしき狂價なりし米も當路及び地方有志の努力に由つて幾分緩和を見、少しく愁眉を開かんとし居るが、吾等多數の米購求者の一齊に語る處を聞くに「此の頃の米は一向乾燥がしない」と段々調べて見ると
◆小賣米屋の中に米に霧を吹いて米の量目を增やすの奸手段の結果である事が判明した、此の非常の際尚ほ此の上にあはれなる需用者を苦めて自己の貪慾を充さんとする實に卑むべく惡むべき所爲である、希くば官憲の取締を嚴にして奸手段を施すことなからしめん事を切望す

◎蒸氣汽罐の大破裂
新義州木下製材所の椿事
重輕傷二十九名即死二名
京城の森平幾松氏は頭部に重傷を負ふ

二十二日朝八時十分新義州江岸木下製材所据付の四十馬力汽罐破裂し重輕傷者二十九名、即死者二名を出せり同製材所の共營者京城の森平幾松氏は頭部に重傷を負へり（新義州特電）

◎米が又……
騰り始めた
―買註文が頻到するので各銀行共强氣配―
京城も觀望中

一時全鮮に亙つて奸商退治の聲が熾に起り警察官憲に於ても公安維持の上から、彼等の頭に破邪劍を加ふ可く活動を開始し、それと共に內地各地に米騷動が起つたので流石橫暴非道の奸商連も一寸竦みに縮み上がつて暫くの間は手も足も出さなかつたが、世間の人氣も稍沈靜し、彼等を脅かした

◇黑雲入道 が消わかつた昨今來、又復蛆の如く蠢き出して、其處此處から買附云々の聲が聞え出した、既報下關よりの買附問題から釜山からの買附問題も人氣高まり大邱も又釜山からの註文頻到する結果氣勢漸次引緊り仁川には注目に値す可き手合せが行はれるなど

◇耳を痛め るやうな情報が入つて來るので全鮮中割安所と稱されつゝあつた京城も遂に激しい反撥が來て、漸く持米筋は形勢を觀望して却々手放さゞるがため市内卸値は二十日から三十七圓五十錢と一旦下げた小賣値も然かけ直さん形勢だと云ふ、萬一此勢ひをして增長せしめんか、在住民は再び米は原にあり乍ら

◇飢ゑなければならぬやうな破目となり、徒らに奸商の私腹をのみ肥やすやうな事にはなりはしまいか甚だ心元ない次第である

◎子供は燒死し
親夫婦は火傷を負ふ
苑南洞の火事

二十二日午前零時十分京城苑南洞二百四十一番地土地調査局雇員高義驥方より出火し即時南大門消防所より消防に向ひたるも朝鮮建草家五軒を全燒し午前一時鎭火するに至れるが義驥及び同人妻並びに小兒一名は火傷を負ひ次男興運は燒死するに至れり、原因は洋燈の火が蚊帳に燃移りたるものにして損害高三百圓の見込なり

◎新花月から
チブスが出た
患者は女將と內藝妓
營業を止めて休業

二十日の午後であつた新花月の女將と內藝妓某は枕を並べて腸窒扶斯に罹つて身を病院に運ばれた。其後の問題は十九名の藝妓である消毒後の隔離は腸窒扶斯には行はない事になつてゐるのであるが、流石は營業柄の商家である大いに要心して、此處兩三日一族の健康狀態に異狀なきを見るまではすつかり箱を止め、外出を禁じて愼ませてゐる。その上彼等のくすぐつたい顏をしながら差出した便は、目下顯微鏡下に照されて試驗されて居るのだと。―それにしても新花月の此際の自發的の處置は當を得て、流石は見上げたものだと褒められてゐる

◎米屋、米を賣らず
馬山市民困窮

馬山にては米廉賣を中止し米屋は品切れを口實として販賣せざる爲め市民の困却一方ならず米價は氣配先高を唱へ居れり（馬山特電）

◎開城の米暴落
一升三十錢

累報の如く開城の白米小賣相場は十八日三十六錢なりしが官憲及び有志の細民救濟、米價調節策の實行により其效果ありて十九日は朝三十五錢夕方三十四錢に下落し二十日に至つては三十錢に暴落せり此模樣にては今明日中には或は三十錢臺を割るやも知れざる可しと（開城特信）

◎パコダ公園の奏樂 二十二日午後七時よりパコダ公園に於て例の如く李王職洋樂隊の奏樂ある由

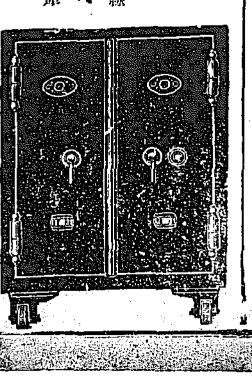
◎國枝博氏送別會 總督府技師の同氏は今回官を辭し不日歸京することゝなりたるを以て岐阜縣人會主催となり廿三日午後六時よりパコダ公園前木家支店に於て送別會を催ふす由因に會費は三圓縣人會以外の者も出席隨意なりと

▲安全第一 大正館にては二十三日より全部新寫眞と替ふべくその主なるものは前週より續映の連續活劇第三秘密の王國なるが今回は煩はしき驚愕、舞踏付の小變、自動車一〇一號、捷橋上の大活劇、人間の浮沈、人買ひの手、ジュリア孃の行末等にして益々佳境に入れり右の外喜劇「安全第一」五卷、新派悲劇も面白く外に新派悲劇全四卷、舊劇出雲怪談全三卷等あり
▲有樂館 二十三日より新寫眞と差替ふべく主なるものはユニヴァサル週報六の三號、喜劇拳闘家全五卷、活劇全三卷、幻劇全五卷等なり
▲黃金館 二十三日より全部差替への新寫眞は、新派劇母の涙全卷、連續活劇第九百兆の秘密四卷、フク〳〵滑稽、喜劇臨時の花嫁等
▲浪花館 東京大落語及び長唄にて開演中なり
▲壽館 浪花節身振芝居春峰吉一行にて開演中なり

◇各地の白米
＝二十二日小賣値段市報＝
▲馬山 一等四十錢二等品切れ
▲群山 一等卅六錢數日來變動を見ず正米に比し一二錢方割安也
▲仁川 小賣相場動かず特等一升四十錢一等三十九錢五厘二等三十九錢尚前途強し

△冬になつて一番痛切に御感じになるのは寒い事と延て燃料の高價なる事だと思ひます！
△此二つのものは『ペーチカ』を設備なさるゝ事に依つて大に輕減せらるゝのであります！
『ペーチカ』の設備は愈押詰つてからでは間に合ひません、今の內の御計畫が大切であります！
ペーチカ築設專門 京城府黃金町八番地 宮崎組 電話龍山五四一番 振替口座京城五四〇九番
說明書御申越次第贈呈

堅牢
にして尚外觀に曲線美を有する我竹內ペント金庫は東洋金庫界の權威なり
（御申越次第詳細目錄送呈）
京城本町 熊平支店 電話長三一一二四番



京城府明治町二丁目（本町江戸川橫より入る） 電話三七八番
內科 小兒科 チアテルミー科 入院隨意
中島醫院 院主 中島貞信

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗

サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 八四一番 四五番 九四番 振替京城五七番

人事百般周旋業 萬年社 京城府明治町貳丁目 電話長一八四四番

內地產材木各種 鴨綠江北滿材 床柱天井板 杉磨丸太 建具類 家具類 敷瓦及テラコッタ
大連市三河町（西廣場角） 島田材木商會 電話二一三八番 電略（シ）又ハ（シマタ）
大連市小崗子海岸 島田製材所
滿洲安東山假市街第一區 島田材木商會支店

◎歡聲全市に溢る
熱狂して歡迎せる哈市の官民
露紙の揭げし日本文の歡迎辭

日支軍事協約活用の第一步として南滿より某方面に出動すべき日本軍の〇〇〇〇は豫定の通り萬歲ミウラーの歡呼の聲に迎へられ、威風堂々哈爾賓に到着又も勇ましく哈爾賓を發車して目的地に向つた此の日、日軍到着の盛觀を觀んとて、停車場に集まる露支人は例に依て夥だしく、

驛の屋上に樹て

連らねられた三色旗は先日チェック軍を迎へた時の儘翩翻として在留邦人は手に手に日章旗の小旗を翳し、在鄉軍人團は國の大旗を押し立て各自皆腕に徽章を附して整列してゐるので、驛構內は宛然日章旗の海と化した觀があつた斯く邦人が

歡迎に熱狂して

ゐる一方、一部露人の歡喜も亦之に劣らぬ程のものがあつた、哈爾賓の一露字紙新聞ウエーチエルナヤ、ガゼータの如きは逸早くも日文にて認めた歡迎の辭を紙面に刷込み日軍着に際して之れを我將卒に配布してゐた、其の歡迎文を示せば即ち左の如くである

☆日本軍を迎ふ

忠勇なる日本帝國戰士獨逸の侵略の慘禍の裡より我祖國を救はんが爲め卿等が進んで出兵の擧に出づるや殘虐なる敵に對し茲に勝利の曙光現はれたり、卿等の勇敢にして忠誠の念熾烈なるは夙に吾人の歎稱已まざる所なり今や卿等は正義文明の爲め獨逸と戰ひつゝある全世界國民の幸福を冀ひ、聯合軍は同心協力我祖國復興の爲め仁俠的援助に對し吾人は國民衷心感謝の念を以て卿等を迎ふ

煙卷一萬五千本

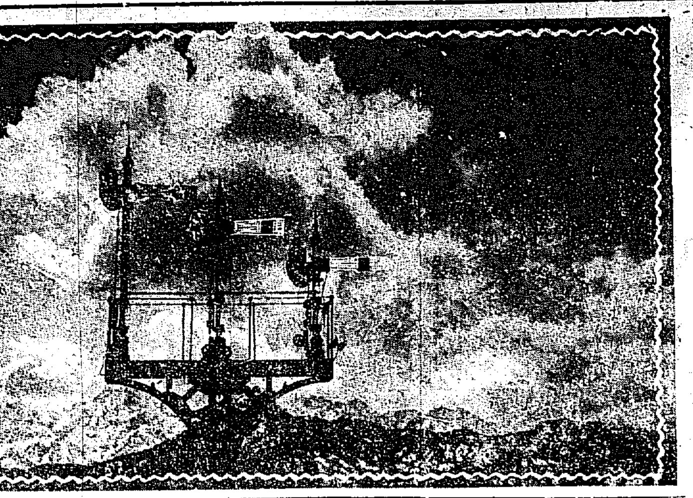
尙ほ同社では我が將卒に對して一萬五千本の卷煙の寄贈をして遠來勇士の勞を犒つてゐた、邦人が征途の勇士に對して茶菓を呈し或は萬事斡旋の勞を執つたのは勿論であるが、支那側でも茶と砂糖の寄贈をなし頗る鄭重な款待をしてゐたのは吾々日本人には

實に嬉しかつた

勇士をのせた列車が到着すると、兵士は直ちに下車した聯隊旗を中央に、列車前に整列した、聯隊旗の傍には［illegible］代表者に面接する、此の日の代表者は日本側は民會長河井松之介、露西亞側では哈爾賓市長シチエンコ氏、ポポフ領事、プレシコフ大將支那側では陶司令代理、暫龍軍少將、黑龍交涉總辦馬氏等で有つたがプレシコフ大將及び松井民會長の如きは

歡迎の辭を述べ

感激の餘流涕嗚咽し言語を發する能はざる程であつた斯くして軍隊は逐次續發して行はれつゝある（哈爾賓）


◇雲の峰（南大門驛構內にて）

◎油の代りに石炭の粉
新らしき用法
米國新聞所載　ハリソン氏稿

晩近世界に於いて冶金家及び化學者等の注意を惹きつゝある所のものは粉末石炭の使用法に關する事にして其の主たる原因は極めて經濟的なること一は燃料油の代用たり得ること一は燃料油の價格非常に騰貴しつゝあるが爲めなり、著名なるセメント工場に於ては從來油を燃料として使用したりしも粉末石炭を代用するに至りてより、ポートランドセメントの價格は五割方低廉となれり即ち千八百九十八年迄はポートランドセメントを製造するに當り燃料として回旋窯に於て油を燃燒したるが當時回旋窯の大きさは四十呎乃至六十呎の長さと五呎乃至六呎の直徑を有しポートランドセメントの燒溶三百八十磅入一樽に對し約量十二ガロンの油を要したり其價格は一ガロンに付五仙なりしを以て一樽に對し六十仙を費したる譯なり然るに現今に於てはポートランドセメント一樽に要する粉末石炭の量は九十ポンドに過ぎず而して粉末石炭一噸の價格は粉末の狀態に於て回旋窯迄の運賃を合して二弗十仙なるを以て一樽の燃料價格は十四仙なりとす、大平洋沿岸に於て燃料油は一ガロンに付大略一仙にしてセメント一樽に消費する油は九ガロンなるを以て粉末石炭を使用する東海岸に於ける一樽分の價格と殆ど同額なり勿論東海岸に在りては油の價格が一ガロンに付き四仙二分の一乃至五仙四分の一なるが故に自然に油を燃料とすることを廢止するに至れり、粉末石炭は最初英國に於いて冶金爐に使用してより漸次他の方面に及ぼしポートランドセメントの製造にも應用を試むるに至り數年之が研究を重ねたるも每時不結果に終りしが遂に米國に於けるアトラスポートランドセメント製造會社のハリソン及びシーマン兩氏により之が成功を收むるに至れりポートランドセメント製造に要する粉末石炭の消費量は今や世界に於ける粉末石炭使用工業中の第一位に在り斯くポートランドセメント製造に粉末石炭を使用することに成功せしより他の鐵鑛採取熔解爐等にも漸次應用せられ又石灰岩土の燃燒或は織物の燒毛鐵の精製等にも使用せらるゝに至れり

◎降雨と出水

大邱地方は十八日夜來豪雨あり十九日に至り稍や小降りとなりたるも未だ陰晴定まらず斷續して降雨を見つゝあるが其が爲め大邱附近の諸川は孰れも增水し鐵道線路中東村、半夜月間の線路の一部崩壞、又東村停車場附近の鐵橋破損修理の爲め一時運轉不能となりたるも大邱より各方面に通ずる自動車は十九日より休止の姿なり、琴湖江も十九日增水約［illegible］尺に達し永川道路八達橋附近路上數箇所に氾濫し深さ腰を沒する迄となれり、永川附近又諸川增水引尺に達し五樹洞及び鳳竹洞は渡船付交通杜絶し尙溯水の模樣なり、高靈邑內東方錦川又十八日來の降雨にて增水五尺に及び過般川水の爲破壞せる箇所より氾濫し場市洞は床下浸水し交通杜絶し郵便物も不着なりと（大邱）

◎米の騷が止むと もう傳染病が 仁川に始り出た
某當局者語つて曰く

油斷も隙もならないこと豪雨の後に酷熱があり酷熱の後に惡疫がある每年八月の末から九月にかけてお極りの樣に窒扶斯や赤痢が流行するので最も危險な時期とせられて居るのである之は第一氣候の關係が然らしむるので暑さから涼しさに變る所謂時候の變り目に當つて人々の衞生思想に多少の緩みが來るのも

惡疫の乘ずる一の

原因を爲して居る此の時期に於て一番罹り易いのは寢冷えで之が爲め色々の病氣を釣り出す事が既に從來誰でもが經驗して來た處である昨今流行の成金風の如き亦多くは就寢中の冷ね込みに原因する事が多い惡な事は何んでも無い樣だけれど不注意に流れると頗る危險性を伴なつて來るもので小供の急性肺炎或ひは大人の下痢症等を起し惹いて

強烈なる胃腸病に

化して赤痢などの忌むべき傳染病を誘發する樣になるものである元來赤痢等は主に飲食物から來るが之を豫防する爲めには平常に於て最も胃腸を強健にして置く事は忘るべからざる必要條件である仁川には未だ一人も赤痢患者を見なかつた處が所謂發生時期に入つて普通學校に一名の赤痢患者發生し

遂に死亡して了た

幸ひにして市內と懸け離れて居るから今回の發生は先づ蔓延の恐れはないとしても若し之が市內での發生でもあつたら大いに警戒を嚴にするの必要が生じて來るのである盛夏の過ぎること大體に衞生狀態も緩みに傾き易い殊に鮮人側に於て甜瓜が出盛つて到る處に其の食ひ殘りや放り棄つる樣になること道路側らには腐敗したそれ等の物に蠅が群集すると云ふ始末で從つて飛んでもぬ危險を伴なふ樣になるのである最も注意すべきは相變らず

蠅の附著に注意す

る事而して寢冷ねもせぬ樣に殊に小供の如きには必ず一當の豫防手段を施す等時候の變り目に餘程の手加減を常に考へてゐないと不慮の病氣に罹る事が多い盛夏よりも寧ろ此の季節が危險な時である事は從來の傳染病の發生統計に依つても之を證する事が出來るのであると某當局者は語つてゐた（仁川）

◎歩哨職に殪る
◇支那人賊徒の爲めに◇

四平街守備隊二等卒五十嵐忠治（二）は同僚三名と共に四平街北方の鐵橋守備任務に服しつゝありしが夜十時頃五六名の怪しき支那人通過するを認め誰何するや否や曲者は發銃を放ちて五十嵐二等卒の左肩上部より後背に貫通する銃創を負はせ尙五六發連發して疾走逃亡せり五十嵐二等卒は翌日鐵嶺衞戍病院に入院せしも負傷の際出血甚しかりし爲めか終に死去したり此報に接するや佐藤中隊長は遺骸引取りの爲め急行せるが四平街在留民は五十嵐氏が職に殪れたるに深く同情し弔慰金を醵せんとて目下協定中なり（四平街）

米問題と地方

◇釜山は二萬五千圓（救濟資金）

釜山臨時救濟會委員會は二十日午後一時より府廳樓上に於て開催されたるが右の主旨に依り遂行することとなり現時の米價騰貴に伴なふ府民生活上の困難を救濟するを以て目的とし其の期間は約二箇月の見込みなるが而して資金を更に二萬五千圓と變更したるが救濟の程度は年收五百圓以下にして事實生計困難と認むる者に對し米代一升に付七錢乃至十錢の範圍に於て同日より補給する筈なるが購米量は一人平均二合五勺として家族の數を乘じたる數量に準據すべし而して其の方法は補給券を各町洞の委員に配付し救濟を受くべき者の請求に依り隨時これを交附する筈なるが二十日の會計基金は左の如し

▲三百圓福田增兵衛▲二百圓共益社支店▲五十圓島末俊太郎▲三圓三島一平▲一千圓鈴木商店▲二百圓賀田友藏▲百圓佐々木商店▲一千圓香椎源太郎▲二百圓伊東合名會社▲百圓岡村倉吉▲三百圓張禹根▲三百圓福島源三郎▲二百圓山本利吉▲三百圓岡政次郎▲二百圓中村芳太郎▲二百圓藤山喜市郎▲二百圓金時昌▲五百圓五十嵐吉［illegible］▲小計五千［illegible］▲前日迄計八千五百［illegible］▲累計一萬三千三百五十三圓

◇總てが斯くありたし
値上を見合せた大池氏

今回の米價騰貴に依つて所謂國亂れて忠臣顯はるの諺の如く朝鮮各地にも所謂仁者が簇出した釜山でも大池忠助氏は白米の廉賣に亟いで五十石の鮮米其の他種々の救濟に努めたが一方には八月一日から家賃二割五分方の値上げを決行すると云ふ事が借家人から口々に傳へられた世評に拘泥する必要もないが折角施した慈善も家賃の値上げでプラスマイナスだと云ふ人さへあつた殊に廉價放賣は差引なく五分は永久的である等と云ふ人も米五十石は打ち切りで家賃の二割あつたが大池氏は幸ひに忠告を容れて家賃値上げを見合せられたる事は同氏の借家に住ぬ誰れ彼れ迄が結構な事だと噂してゐる（釜山）

◇江原の廉賣

米價暴騰の爲め細民の窮狀に同情し各地共篤志者の醵金を以て白米の廉賣を爲しつゝあるが江景に於ても米穀商林秀輔商店、白阪氏、三南知產會社精米小賣部、裏本商店等は去る十六日より相前後して白米の廉賣を開始したるが二宮江［illegible］

◎鳥致院と米

燕岐郡廳及び鳥致院驛派遣所に於ては米價調節の目的を以て鳥致院穀物商組合より醵出せる救濟金二百十五圓を以て鮮白中白米二種四十五俵を二十日、二十五日、三十日の三市日に廉賣すべく二十日第一回を開始せるに開始後二時間にして賣切れとなり之が爲に市內小賣店の米價を低落せしめ好結果を納めたり鳥致院の廉賣價格は鮮白米一升三十錢、中白米一升二十五錢なり（鳥致院）

◎平壤救濟會

平壤救濟會設立の件に付いては十八日夕刊所報の通りなるが二十日午前十時より平壤府尹室に於て府尹、淺井、奧田、吉植、神阪、其他鮮人四名の各委員府廳樓上に集合し評議の上會則を議決し設立委員會は府尹を會長に推し尙山下府書記、山田庶務部、久野商業會議所書記長に理事を囑託し同時に顧問の推薦及評議員の囑託をも議定せり（平壤）

◎井邑にては

全北井邑にては米價三圓四十錢乃至三圓五十錢位なるが一時米價狂騰せしとき井邑の金森玄三氏は白米一俵十七圓にて廉賣せるため市內一般の小賣商も之に倣ひ廉賣を主眼として賣出せるため此地の市價調節緩ひたるは一般市民の感謝するところなり（井邑）

［illegible］署長其他有志は米價相當の低落を見る迄廉賣を續行すべく斡旋努力し居れりと（群山）

◇木浦と米

木浦に於ける白米小賣相場を見るに一般に於て協調にして殊に白米商組合の設定なき爲め其價格に於て一定せず最高三十九錢より三十五錢八厘まで個々別々なるが粉の出廻り少々なる所前記の如く協調の爲め各店共入用丈の買入に止まり殆んど取引中止の狀況なりと（木浦）

◎朝鮮第一の
もう新米が出た
早稻の出る黃海道から

每年朝鮮で一番早く米の出來る黃海道では京義沙里院地方から新米が出たソレは殿樣米で沙里院市場で御祝儀商內があつた相場は玄米二十七八圓白米三十一二圓である

◎大連と外米

關東都督府にては管內米價調節の爲め三井物產大連支店の手に依りて輸入せる外國米三百石（六斗入五百袋）十六日來港せるを以て十九日より大連市西公園町農事試驗場跡に於て午前午後二回實費供給を開始せり價格は一升二十一錢にて一人當り月一斗と制限したるが第一日目には試用として多少の買受け者ありたるが割合に買行き少かりき（大連）

◎兼二浦の物價（十九日調）

十九日調査の兼二浦物價左の如し

白米　升	三七	小豆（內地）升	三五
麥　升	二七	小豆（朝鮮）升	一八
清酒　升	一、一〇	醬油　升	七〇
味噌　貫	一、七〇	鹽	一〇〇
酢　升	四	素麵　百匁	二五
鰹節　百匁	一、五	茶　斤（正喜撰）	一、八五
サイダー	二〇	シトロン	二〇
石油　箱	八、六〇	半紙　帖	〇八
タオル	三〇	シヤツ縮	一、〇〇
苹果　箱	二、五〇	西瓜　貫	四〇
梨　箱	一、六〇	玉葱　貫	五六
馬鈴薯	五〇	葡萄　貫	一、四〇

炭　俵一、〇〇　麥酒はキリン三十八錢、サッポロ三十七錢、サクラ三十六錢なり

初物—葡萄

黃海道黃州名產の一なるブドウは十八日より兼二浦市場に現はれたるが百匁十七錢にして出來榮頗る良好なり（兼二浦）

◎廳丁長代用者看護卒等
大連にて募集す
廳丁長は月俸七十五圓　看護卒でも四十五圓　小使や厨夫でも日給一圓

大連民政署にては廳丁長代用者看護卒代用者、小使、厨夫若干名の募集を開始せり給料は廳丁長代用者日給一ヶ月七十五圓看護卒代用者四十五圓小使及厨夫日給一圓にして住宅衣服を支給し食費は實費一日約卅錢を徵すとの事なり（大連）

◎長春以北に
◇我が軍用手票の流通◇

近て幾何か限定せられたる我政府發行の金券軍用手票の流通區域は長春以北に制限せられ長春以南に於ては總て朝鮮銀行金券を以て支拂ふ事に內定せらる、由（奉天）

◎哈市後援會

哈爾賓よりの歸客談に曰く哈市居留民會は在鄉軍人會なるもの軍人慰安の協同し軍人後援會なるものを組織し可成居留民會長を會長に推し哈爾賓より召集されたる軍人の遺族に援助を與ふる事とせり同時に歡迎の如き國側にても之が中心となり活動しつゝ秩序を現出せざる樣注意すると同時にチ軍以上の大歡迎をなしたり（奉天）

◎伊兵浦鹽へ

天津に於ける伊太利の俘虜は尙ほ一千四百名なるが其の中八百名は本月下旬を期して浦鹽へ出動する事となり武器の到來と共に秦皇島より乘船渡航すべしと（北京）

◎支那軍と南滿

外交部參事向四綬及び第九師參謀劉用康は奉天に向へり右は支那軍隊の南滿通過の斡旋の爲なりと（奉天）

◎旅順要塞司令官

前旅順要塞司令官大久保中將の後任は新部浮府［illegible］にて現に步兵十六旅團長たる宮田少將に內定せりと（大連）

◎詐欺賭博師
四人組の朝鮮人

江原道金海郡岐興面方浦里三統二戶申泰京（三七）平安北道雲山郡古面風山里一統十戶李炳元（三二）黃海道海州郡東雲面十七統十戶趙正學（三一）外一名は七月上旬平壤に入り込み一定の職業に從事せず何事かを企みをなし一軒借せんと何れも居住して諸所を渡り歩き居りしが南中和郡海鴨面興文里八九番地李堯欽（三五）なるもの米穀賣捌の爲め平壤に來り府內［illegible］に投宿し居る［illegible］平壤署員の知る處となりたるより黑澤刑事は巡査二名を率ゐて遂に前記三名の惡漢を取押へたるが一名は逃走したりと（平壤）

◎熟睡中實子より撲ぐり殺さる
◇加害者は精神病者◇

平安南道价川郡西面雲面里尹貞泰（二）は五年前頃より發作的の精神病に罹り居れるものなるが此頃病勢愈々募りたるより大同郡伏乙美（五二）は寺洞に居住せる實母吉姓女（五）の許にて加療せしめんと手足を縛し嚴重に監視して連れ行く途中安州郡安村面差莊里康炳燮方に一泊したる處稍や沈靜の模樣なりしを以て實母及び他の附添ひ人二名も聊か安堵し二晝夜引續き監視に從事したるより非常に疲勞したるを以て一時睡眠を貪りたる間に病人は戒しめある麻繩を噛み切り其處を脫出し同家物置小屋にありし斧を携へ來り熟睡中の實母の左前頭部を矢庭に劇しく毆り付けしにぞ何かは以て堪るべき實母は一堪りもなく其場にて即死せし騷ぎに此の物音に一同驚いて飛起き猛り狂ふ尹貞泰を取拘へ最寄の駐在所に屆出で結局尹貞泰は實兄某に引渡されたりと（平壤）

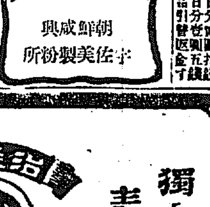
▽其後の醵金者
二十一日午後より二十二日正午

［illegible］

月經不通を快く通じ
月經不順を快く調へ
月經困難を快く治す
月經の滯を通し月經不順に伴ふ子宮血の道、便秘、經痛逆上等を良治す。
又持藥させば惡血を下し月經異動、子宮病を治す。
本舖　大阪　丹平商會藥房

事務所向貸家
黃金町二丁目室便の地造作及電話の貸家あり希望の方は諸町謙渡方か又は電話二〇三番に御問合せを乞ふ

かぜつね
面白い程きく
カギヤヒリン
彼是と手遲れぬ樣直ぐ用ゐよ
本舖　名古屋　荒川長太郎



朝鮮成興　宇佐美製粉所

りん病七日藥
日本專賣特許
麻除
化學的急治法
麻除は見事に治る奇藥也
主治効能
●慢性麻病●急性麻病●女子淋病●膀胱加答兒●睾丸炎●尿道狭搾
本舖　山口藥院
東京神田今川小路一ノ六

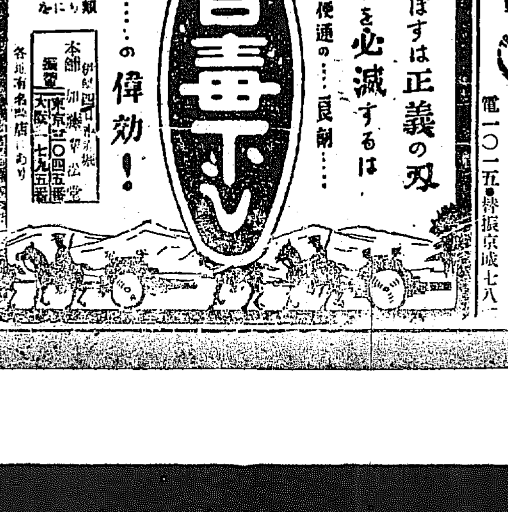
公告
京城府

陸軍御用
元祖
朝鮮高麗人參

人參エキス本舖　津村兄弟商會
京城本町一丁目
電話一四八〇番・振替京城三五一一
津村兄弟商會支店
京城本町二丁目　山岸天佑堂
京城本町二丁目　木村藥舖
北島藥舖
品質優良藥効の顯著なる人參エキス

滿天下の賞讚を博したる人參エキス
定價
△七日分、金五十錢、△十四日分、金壹圓、△三十日分、金貳圓
△四十七日分、金參圓、△八十五日分、金五圓、△百七十日分、金十圓

魚釣具
投網卸小賣
吉備商會



時計及蓄音器卸商
喜多金光堂
京城黃金町二丁目

大日本優等清酒

品質純良　衞生無害
嘉納合名會社
發賣元　前田酒店　京城本町二丁目

內外科・小兒科・花柳病
高井醫院
院長　高井貞治
副院長　松崎正彦

內科・小兒科
小林醫院
京城旭町一丁目

商況

東京期米特電

二十日後場 寄付 二十八圓十錢 五節 二十七圓五十九錢 止め 二十八圓十錢

兵庫期米特電

二十二日前場 寄付 二十七圓九十九錢

大阪株式特電

休會

銘柄	拂込額	日後場
宇治川水	[illegible]	……
京阪電鐵	[illegible]	……
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	……
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋製糖	[illegible]	……
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	……
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	……
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

二十一日後場	
八月限	四〇五、五〇
九月限	……
十月限	……
十一月限	……
十二月限	……
一月限	四〇〇、九〇

大阪期米特電

堂島定期市場は既報の如く本日より立會開始の筈なるが電報未着の爲め不明なり

下關期米特電

停止

雜報

●三品小甘し 頭目 東四百四十錢を手堅く維持しつゝありし三品相場も昨報後場は米棉一圓八十錢安 形勢稍々不良となり當限四百四十錢先限は三百九十九圓九十錢と四百圓の關門を潜りしが後場は小高く引値の如く四百圓

●銘先物十三圓四十錢と氣丈 富國布況は三品市況の成行きなるが手持品の氣勢鈍ぶりたると薄商内とに氣迎不振なるを免し相場は組布三十一三百五十三圓十六錢物三百二十三圓と前日に比し約二圓方下押したり

●正米落著く 正米は昨さに大阪府の廉賣米申賣附を控へしか今回は更に下關倉庫より同じく廉賣用として精白米買附を行ひし趣にて氣配更に怯落模樣を帶び其他仁川又は地方筋も又内地よりの買注文入込み居れりとの事にて昨日の氣配も一般に前日の如く仁川筋及び地場手筋の買占め行はれたるが爲めに昨朝の如く急激なる反落を來さしめ漸く手を引くに至りしも今朝は人氣漸く落著き一般相場は前報の値に持合ひて買人の輸入なり仁川筋約三千叺地場手筋三千叺内外の買附ありし趣にて在米高の關係上非常に注意しつゝありと

●鑛油氣強し 器械 油は七月中旬以來燈火油輕油の漸騰につれ買氣增加したる折柄手持筋の手持品は既にほゞ一掃したる後さいひかつ日貨油社の海東向納入契約復活するに至り人氣一層引締りこゝに於てマシン油は前狀を全くしてすこぶる强硬を示し鑛油類も多少品も色めき立ちたるが昨今は外品も色めき立ちつゝあり

●刺戟しつゝ燈火油大に人氣を 浦鹽向輸出 二千函の噂あり五千箱の少なからぬ股價上の注文を見るも計り難き

●輕油 は例年なれば徐々に成行なき海道筋の模樣なく市況引續き減退の爲め北海道より本年の漁季遅れたるため輕油の需要に低度物共殆ど全部先約品の吸收せられ市場への出廻りは極めて少數にて漸く六十八度見當のもの

●擇發油 は不引合の爲め出廻り少なからず又内地油は高度のものは多量に出廻れるに止まれば先行は秋口の需要増加するに於ては市況又復昂進の出現すべき氣勢也

●箔粉は先高 一般 箔粉類は製造増加の折柄地金の供給殆ど杜絶せるが如き狀態にして何れも在荷殊の外手薄にて製造も地金欉底せる状況にて箔類は市況更に盛んなり前月以來市況品薄のため

●金箔類 は頗る品薄にて需要の一方にて前月以來の金粉類は金箔同様にて相當賣れ行きあり

●銀箔粉 は製造も相當の節約し成行き左さる値上げの傾向なり

●平板小締まる 平板は取地表格別の變動なしこの小口入荷ありたるのみ

●大麥は氣丈 大麥も當地は持品の關係今日迄多少割安の地位にありし爲め此處米大阪頭打ち來たる持越品一掃さ新規入荷のあるに迄れ氣配十錢方引締まれり

●大豆安持合 大豆は本龍川の十六圓五十錢處を持合ひ居れるか付値も手口もなきより市況不味を呈し居れり

●裸麥は割安 裸麥は需要期なから既に一巡行渡りたる爲め他の麥類に比し割安の觀あり相場は十四圓替へなり

●支那粟弗々 支那粟は弗々取引行はれつゝあるが需要期なるも左したる事なし產地は高く今後の輸入又少からざる見込みなり相場は一時米價の昂落に連れ三圓の騰落を示せしが其後の模樣は手持品の潤澤なるため今日の處今後の成行き注目すべし

●白米見送り 白米は別項の如く入氣稍々落付きたる模樣なれば白米も目先傍觀の方針を取れり相場は一等米三十七圓五十錢にて持合へり

●小賣白米持合 小賣白米御値は昨報の如く一升方二十錢見當にて同業者協議の結果御値が現在の小賣値に適應する迄現狀の儘に据置く事に決したり

下關相場

▲鮮米無見當 其後出廻り少く見ずして日下買り物持無の有樣なれば自然那邊が當價なるやも産地よりの情報によれば入手の見込み僅少なりさの傳へたのみならず買り方の手持の品きは益々高く眼先き商は高見當なりし

各地商況

◎木浦米況(二十日)
▲玄米(頭打ち) 大阪市場商況未だ恐怖相場を脱せず本日は更に買ひ來らず頭打ちの模樣あり當地にても又之れに影響して三十二圓見當の相場氣分にて相場立たず一般に形勢觀望中の如し 本日は七八十俵の小口入荷ありたるのみ

▲金納入豆 二十四圓五十錢
▲清浦大豆 二十四圓五十錢
▲元山大豆 二十一圓二十錢
▲同大玉上品 二十二圓八十錢

仁川正米

▲賑の入津弗々ありし氣配は正米商況に連れ高人氣を唱へ居れり何なる珍品價に沸騰するやも計られず況んや終に在來の缺乏を來し如何に漸く内地より買注文入り

錢高 となり午前中玄米四十錢方上げ四十錢見當なり

生魚市場

京城日本魚市場 本日は廻送少なし ▲たい六〇 ▲さば三二 ▲すゝき二七 ▲めじろ二四 ▲にべ一七 ▲ふか一〇 ▲はも二五

仁川期米

二十一日後場（新規買停止中）
▲第一節 兵庫期米京前場寄付二十七圓五十錢發會二十八圓十四錢を報じたり當地中先共に出來不申
▲第二節 中先共に出來不申
▲第三節 中先共に出來不申
▲第四節 兵庫發電東京前場六節八十五錢七節九十四錢十節立會延引明大十錢十一節七圓七十九錢五十八圓十錢二十四節下に八圓十錢

二十二日前場

（新規買停止中）
▲第一節 中先共に出來不申
▲第二節 中先共に出來不申
▲第三節 中先共に出來不申
▲第四節 東京前寄二十七圓九十錢上順氣察天さ入電當地中先共に出來不申
▲第五節 中先共に出來不申にて散會

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話一五八番 長一五九番 電話七二〇番

●正米の形勢 前日 以來十一月限の新甫發會を俟つて立會開始するに至らん

●在米の全部は既に買占め 入大體に於て込み來るよ玄米に内米に買注文の騰なる丈け忽ち人氣に影響し乘

●昨今三十四、五圓の高氣配 る此際自然の成行に放任せんか又先高理想の念に驅られる買占め等に依り又は各精米筋の買思惑も起り一面米持筋の賣惜みさなり今後如何なる珍高値出現せんも計難し形勢にありこの說大いに戒ざるへからず

市場雜觀

▲昨後場は兵庫電東京前場寄二十七圓五十錢發名二十八圓十四錢を報じたる後入電なく當地は後場

●一節より四節迄 出來不申 行は四節迄入圓丁度後場八圓十錢より五節七圓五十九錢さ五落しためは八圓十錢さ跳ね返し入

●依然亂高下 の裡に接近し依然の成行を報じたり

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話四九番 二〇〇

●東京は上順氣 ▲天候快晴天今立會中寄入電は十七圓九十九錢と昨より十錢安上順氣察天とありたり昨日兵庫より大島東京よりは二十二日より立會開始する旨報じたる入天災期に接近しつゝあるの好材料こ云ふべきなり

●又復米價の暴騰 に依り如く内地注文依りて居る驚愕す人氣を唱へ

●促進 救濟會及廉賣の實行なり

●叺細莚 穀物叺及荷造用莚各種 石炭鑛業産物用 大田本町二丁目 箕浦商店 長電話五二番

●賣會に大打擊を與ふ 朝鮮には尚三十萬石の移出餘力ありさる之を公表しけるが果して三十萬石の餘力あるや疑問である假に鮮内に於ける餘力あるや其の需給も付き且つ又融通も付くか否か此餘力なしとせば今後の米界は轉た寒心に堪へざる者あり

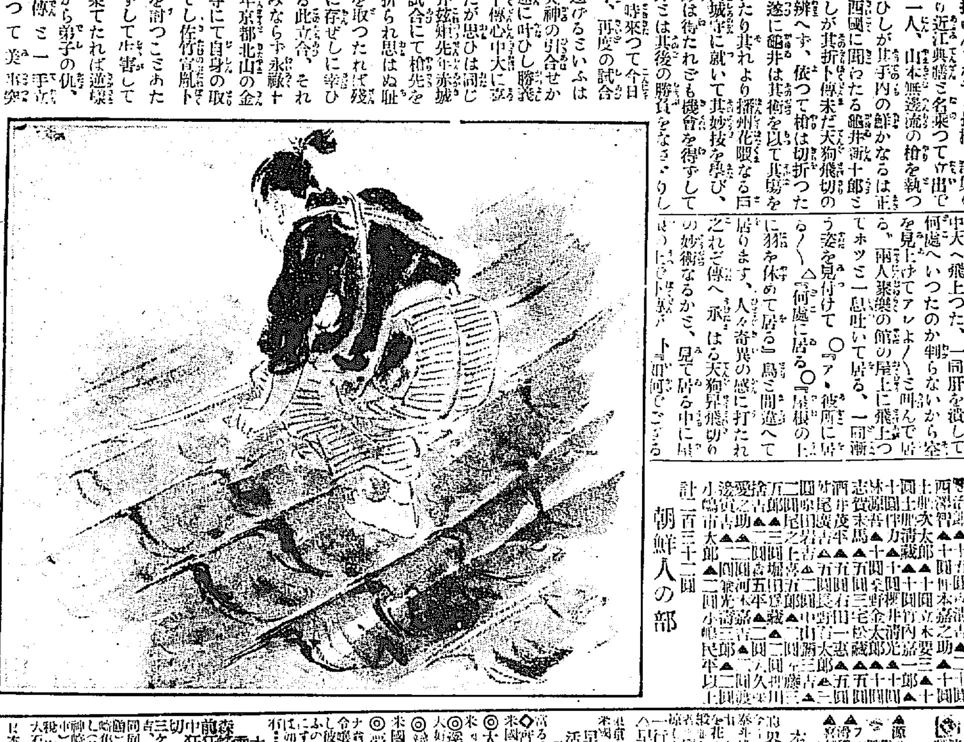
●三十萬石の餘力に安心大事なく警戒 すべきである▲當地にて未だ歸仁せず浅委員長は數濟會の廉賣事業に日も尚ほ足らざる有樣なる爲にて放任するこそ非ざらんも斯る事情の許さぬ經過し居る者と思はれる何れ

●十一月限の新甫發會を俟つて立會開始するならん

塚原卜傳

第百七十四席 悟道軒圓玉口演

思ひぞいづる二十年以前、上泉赤城山の頂上にて源平旗取の奉納試合ありし時、卜傳其時二十五歳、仁科與四郎と假名して登山なし樋口光義を打込んで日本一の額面を針に掲げんこなせし折柄、群集の中より近江典膳と名乗つて出でたる一人、山本無邊流の槍を執て向ひしが手内の鮮かなるは正しく西國に聞ゆる龜井新十郎こ察せしが其折卜傳未だ天狗飛切の術を辨へず、依つて槍は切折つたれど遂に龜井は其術を以て其場を免れたり其れより播州花隈なる巨澤山城守に就いて其妙技を學び、玄妙は待たれども機會を得ずして龜井こは其後の勝負をなさゞりし只今、時來つて今日再度の試合を遂げるこいふは丹矢神の引合せか武運に叶ひし勝養こ卜傳心中大に喜び念に存ぜしに幸ひなる此立合、それのみならず永祿十二年京都北山の金閣寺にて自身の取立てし佐竹官鼠卜傳を討つことあたはずして害して相果てたれば逆ながら弟子の仇、卜傳こ一手立合つて美事突伏ぜ、龜井流の妙を見せつけ官鼠の恥辱を雪ぎ得させんと雀躍して進みました、見物して居る人達はこんな事を考へて居るとは知らない只其勝負の花々しさを豫想して聲を擧げて見詰めて居ります、互に一呼一吸の後、機熟してヤッこ一喝叫ぶよと見れたるが龜井鉉十突出す槍は電光石火の激する如く卜傳の面門望んで閃き來る、アワヤ卜傳一突きに突かれたるかこ思ひの外、神變不思議の手の内早くも木劍にて挪ひ上げ、引く手に付入り鋭矩の面を打たんこ振下す、此方も固より槍を執つての達人なれば心得たりこ飛退り、素早く槍を繰込んで打込來る卜傳の木劍を刎上げ小手の直る間を與へず再び繰出す槍先き、宛ら矢の如く、中段に直つて卜傳の腹板望んで飛込る、左知つたりこ卜傳左足を引いて槍を引外し、流るゝ手許へ入身になり、柄も砕けよこ木剣を打掛けて打込む木太刀、固より正面に受けては堪まらぬから鉉十槍を引いて體を開かんこしたが卜傳の業引く間がないからヤッこ一聲槍の石突を突いて飛上つた、之れなん天狗飛切の妙術、アッこ一同驚く中、卜傳續いてヤッこ叫ぶこ中天へ飛上つた、一同肝を潰して何處へいつたのか判らないから空を見上げてアレ〳〵こ叫んで居る。兩人衆樂の館の屋上に飛上つてホッこ一息吐いて居る、一同漸う姿を見付けて ○『ア、彼所に居る〳〵』△『何處に居る』○『屋根の上に猶を休めて居る』鳥こ間違へて居ります、人々奇異の感に打たれこれぞ傳へ承はる天狗飛切の妙術なるかこ、見て居る中に屋根の上では卜傳『ハ、卜傳何ひござる



龜井氏、先年は拙者此術を知らざりしため貴殿にマン〳〵こ切抜けられたが山城守殿の好意にて此術を授かりし上は、貴殿に劣らず、天に上らば續いて上り、地に潜らば續いて潜り、上は三十三天に至り下は金輪奈落の底、こ申しても大地に入る術は未だ知らぬが飛ぶこことだけは存じ居るから何處までも一緒に參る心得でござる、那所へなりとも北都にても一手お手合せ仕るも宜しい』鉉『イヤ貴殿此術を斯程まで熟達あらせられし上は到底拙者の及ぶ處でござらんから勝負をいたしても無益の次第、いつまで屋根に居られもしないから下りませう』卜『左樣ならば拙者も下りるこいたす』屋根の上で相談して居る、下では呆氣に取られて見て居る。『どうするんだらう日が暮れて了ふぢやァないか、如何まで屋根に止まつて居るんだ』こ騷いで居ります、北上兩人手を取合つてヒラリ

慶北共進會

慶北共進會大邱協贊會に於ては過般來各方面に手を分ち寄付金募集に努め居れるが廿日より增田寺田堺の三理事は更に在邱官吏側の寄附勸誘に着手したり今廿日迄に決定したる寄附申込者左の如し

內地人の部

▲三十圓 中野喜市 ▲十五圓 大塚 ▲二十圓 ……（以下寄附者芳名略讀不能）[illegible]

計二百三十二圓

朝鮮人の部

金敬守以上計五百四十圓

支那人の部

▲百圓 海鵬 ▲百圓 李英勉 ▲五十圓 ▲百圓 ……（以下）[illegible]

五十圓 張玉堂 ▲三十圓 張庠臣 計八十圓

女髪

生徒募集 日本全國に於て洋髪元祖教授三ヶ月卒業 會則郵券三錢送れ 京城本町一丁目 婦人高等髪學會

暦

八月廿四日 九星 舊七月十八日 癸卯

▲九紫 獨り天狗の有頂天は油斷大敵 本命九紫南危赤口 ▲八白 ▲七赤 ▲六白 ▲五黄 ▲四緑 ▲三碧 ▲二黒 ▲一白 …… [illegible]

演藝案內

黃金館 電話（晝間）二三六六 （夜間）二三六七 京城黄金町 ▼當ル八月二十三日より新替り ▲活劇『母の涙』劇全三巻 ▲『百萬弗の秘密』 第十五水上飛行機 第十六編しき沼池編 四巻

稻荷座 本町五丁目 ▲源平盛衰記 ▲『景清鐵引き』 ▲滑稽活劇 尼寺の目時計 ▲フク〳〵 臨時の花嫁

有樂館 早川演藝部直營 活動寫真常設館 電話 ▲當ル八月二十三日より公開 ▲大喜劇『拳鬪家』全五巻 ▲米國ユ社『深谷情話森の女神』全三巻 ▲『歸土喜劇燒かぬ嫁』全三場 ▲『夢幻劇力』全五巻

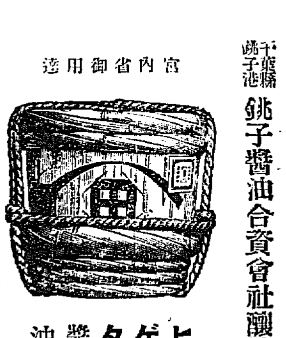
壽館 本町一丁目 電話一〇五〇 ▲當ル八月廿三日より 十一回狂言 命の安心 智者の米 ……

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 ▲當る二十三日より公開 ▲喜活劇『安全第一』五千呎 ▲新派悲劇『霧の雨』全四巻 ▲連續大活劇『秘密の王國』 ▲舊劇『出雲怪談』全三巻

浪花館 明治町二丁目 長電話二六〇番 ○八月廿四日より開演 ○東京大阪合同落語大一座

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亜鉛版 京日寫眞製版部

貸本金參白萬圓
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
明治三十八年設立
株式會社 漢城銀行
京城府南大門通壹丁目十四番地
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 石鎭衡
電話長六〇一番
支店 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所 釜山鍾路、東幕

宮內省御用達
千葉縣銚子港 銚子醬油合資會社釀造

ヒゲタ醬油
代理店 京城明治町二丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 電話長八四九番・一四五四番 振替貯金口座京城 七五番

外科 內科 小兒科 皮膚科 花柳病
島崎病院
京城旭町一丁目 本町通り左に入る
夜間診察九時迄 入院隨意
電話二七三六番
院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一

淫羊藿エキス
全鮮一手販賣 朝鮮京城府大平通一丁目 京城日報社代理部
京城特約店 山岸天佑堂
京城特約店 北島支店

淫羊藿エキス 通稱 三枝九葉草エキス 人蔘ニ優ル滋養強壯劑
主効 一、神經衰弱 一、貧血症 一、腎臟病 一、胃腸病 一、腺病 一、生殖器病 一、リウマチス 一、ヒステリー 一、ヒポコンデリー 一、老衰 一、精力減退
定價 廿瓦入 金壹圓 卅瓦入 金壹圓五拾錢 四十五瓦入 金壹圓七十錢 五十瓦入 金貳圓五十錢
送料 鮮內 二錢 以外 三十錢

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話長一〇三九番 振替口座四三九番
樽賣御斷り

診察時間
自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

大阪商船出帆

神戶大阪行 ……八月廿七日 後五時出
群山木浦行 ……八月廿二日 後五時出
大阪行 ×信濃川丸 八月廿六日 後五時出
西湖津城津雄基行（元山出帆）……
宇品、神戶、大阪行 ……
上海、北隆行 ……
湖北丸 八月十四日 後四時出

內地各港出帆主要航路
歐洲航路 毎月二回 北米航路 毎月二回 南洋航路 毎月一回 …… 大阪商船株式會社 仁川支店 電話二一〇番

日本郵船出帆

大連、天津行 ×高砂丸 九月七日正午出帆
仁川海岸町一丁目 郵船仁川出張所

共同汽船出帆

大連直行（關東都督府命令航路）共同丸 八月二十三日前出港
朝鮮鐵道主要驛に聯絡……
共同汽船株式會社 仁川本町四丁目 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

●雄基行 ×印江原道寄港セズ 越後丸 八月卅一日 九月一日 元山發
●浦汐行 ……
●元山雄基線 ……
●大阪行 八月廿一日 元山發
●金剛山遊覽便 ……
●濟州島行 ……
●釜山浦項線 ……
●木浦麗水線 ……
●多島海行 ……
●海州行 ……
●鎮南浦行 ……
●群山行 ……
●朝鮮鐵道の聯絡 ……
本社 京城南大門通 電話一九五三、二一二二
釜山支店 仁川出張所 元山出張所 木浦代理店 京城南大門驛前 松原運送店
其他各寄港地に代理店あり

汽車發著表
京釜線（南行） 同（北行） 湖南線（南行） 同（北行） 京元線（南行） 同（北行） ……

京城日報

第五版

……る故に此種商品の需要を阻喪せしく騰貴を告ぐるに至りたれば今次輸出せる重要商品總額は九百五十萬七千圓にして前年同期に比し四千五百八十七萬八千圓の減少を……や識者階級に於ては之が供給の圓滑を期する方策として浦鹽を自由……並に……況を呈し來れるが此と共に林木市……況も比較的需要旺盛なるが東清線……も輸送力不充分の結果……場への輸送力不充分なる爲め市況……に至つて騰調なりしが山出地より市……は充分引合ふ模樣なるが格高の安……東興材が大連市場に消費せらる、……を見るに至りたるが相場は九百五十圓見當より八九十圓處にして米松は三井物産の手より過般來該地に交渉……より約二割高なれども北海材並に米松は一般市場には引合なく何れも滿鐵の製車材料に消費せらるべ……

京城日報
米穀管理の實行如何

狂騰に重ぬる狂騰を以てし、一時其の底止する所を知らざりし米價は、[illegible]のために[illegible]其の氣勢を殺がれ、目今四十錢内外に保ち合ひありと雖も、未だ以て經濟上の平衡を得たるものとは爲すべからず。加ふるに一旦常軌を逸したる相場のことなれば、何時狂瀾を卷き返すやも知るべからざれば國民生活の不安は依然として除去せられざるなり。然しながら今回發布せられたる穀類收用令にして其の効力を擧げ、且つ輸送機關の十全なる活動に依り、需用供給の間に過不及なからしむるを得ば穀價は一段の安靜を得、引續いて新穀出廻期に入るべければ、こゝに米價問題の一段落を告ぐるに至るべしと雖も、所謂米價の問題は直接に國民生活を支配するものなるが故に、今回の如き應急措置以外、國家社會政策として一定の方策を確立し置くこと極めて緊要なり。

現在の米穀取引所法は、其の究竟目的を、經濟界の狀況に伴なふ平準相場を立つるに置くものなるも、實際に於ては空米を賣買し、高低の鞘を利せんとするに過ぎずして、宛然たる一種公開賭博場たるの觀あるは、掩ふべからざるの事實なりとす。是故に期米と正米とは間接の關係を保つのみにして、其相場は常に相伴なはず。且期米は十中の十まで思惑賣買なるを以て、相場變動が目も眩むばかり激甚にして常に吾人の生活を劫しつゝあるが、我國民は數百年來の久しき慣習に支配せられ、殆ど之を怪しむものなしと雖も、世界列邦中、何れの處にか國民の主食料品を賭博の料に供し、市井投機射利の徒を利するものあらんや。

穀價の平準を維持し、民人生活の安定を圖るの政策は、舊時封建時代に於いて、英明なる諸侯に依りて多く採用せられたるを見る。即ち常平倉又は社倉の法の如き是なり。新時代に入りてより以來、全く自由賣買に委ね去りたるを以て、年の豐凶に因りて高低常なく時に農村救濟を絕叫せられ、又時には今回の如き狂暴至極の相場を現はすに至れり。是れ實に國家社會政策を擲棄したる結果にして、國民生活の不安、今日に至りて極端に達せりといふべし。今や或は穀類收用令の實施を以て、米穀管理の端緒なりと觀測するものあるも今日の政府は公定標準價格を立つることすら、猶躊躇逡巡の裡に在り、況んや米穀管理の如き徹底的政策の斷行の如きは、恐らくは未だ研究にも上らざる所ならん。然れども時勢の推移は遂に此の政策の斷行を見ざれば止まざるの勢ひに在り、吾人は切に政府の速かに之に着手せられんことを希望して止ます。

米穀管理に關する具體の方法は固より當局の調査研究に待たざるべからざるも、其の大體の目的は、第一民人の生活の安定を得るを目的とし、彼の鹽及び煙專賣の如きものと截然區別するを要す。第二其の管理は固より農商務大臣の統轄に屬すべきも、現物集散の便否に依り、成るべく之を全國各地に分布し、其の價格の如きも、杓子定規的の劃一を執るなからんことを要す。第三米穀の管理に伴ない、肥料相場に大なる變動なからんことを欲するが故に、之に對して適當の措置を施さざるべからず。第四内地産米のみにては到底供給を滿足せしむるに足らざるの虞あるを以て朝鮮臺灣にも同じく之を施行することは勿論なり。輸入外米に就いても亦同じ。此外農家各自の食料は之を除却すべきや否や。酒類醸造又は菓子製造用原料の如き特別に之を取扱ふべきか、外國輸出は之を如何に取扱ふべきか等の諸問題に就いては仔細に之を講究するの要あるべし。

之を要するに米穀管理は、現在の如き國民生活の不安を除くのみならず、生産者をして安んじて其業に就かしめ、同時に投機射利の僥倖心を防遏するものにして、經濟的に、社會的に其の効力の偉大なるものあるを疑はずと雖も、之に最も注意すべきは、此の管理の方法が成るべく簡率便易を主とし、例の御役所風の弊に陷らしめざること是なり。鹽、煙草、樟腦の如きは、本來收利を目的とするものなるが故に、多少の冗費は之を寬假し得べしと雖も、米穀管理は國民生活の安定が唯一目的なれば、萬般の措置、此の目的に適合するを期し、其の効果を擧ぐるに遺憾なきを要す。記して以て當路の勇斷を促す。

北滿森林將來
鴨綠江採木公司理事長 永田正吉氏談

鴨綠江採木公司の事業狀況に就ては度々京日紙上に詳しく掲載せられてゐるから別に今更改めて語る程の事もないが今年の營業狀態は例年にない好成績を擧げて居る先づ最近五六年度の流筏數を

▽比較すると 明治四十四年度が三千八百九十五大正元年度が三千百三十九同二年度に非常なる不成績で僅かに一千六百七十四同三年度は六千二百六十六同四年度は三千四百四十三同五年度は四千七百三十九といふ割合になつてゐる、然るに今年は春以來適宜の水量を得た爲めに今既に三千五百の流筏を見てゐる元來流筏は彼地の雨季七八月が水量の關係上一番多いのであるが、それに今既に三千五百の流筏を見てゐるといふのは例年無比の好成績で猶十月迄には六千の見込である、實に本公司創業以來の好成績である而も

▽販路は圓滑 で價格も例年に比して高價であり當局としては非常に喜んでゐる次第である抑も北滿洲は大いに我が同胞の發展せざるべからざる土地だらうと思ふ、或は米國へ或は南洋へ各自夫れ〴〵の目的の下に海外に發展するのは其何れの地を論ぜず大いに賀すべき事であると共に北滿洲の輕視すべからざる事を證して止まない次第である、現下北滿洲には我國に於ける有數の富豪を始め各國より入り込み來る人々の數は決して尠くない、木材同業組合は木材調査會を組織して西伯利より北滿洲にかけて

▽調査に著手 し殊にパルプの原材多き同地方の事とて製紙會社の活躍も目醒しい是等に依りて北滿洲の森林に對する事業は旺盛を極めてゐる然し伐採を始めてより數十年の今日に至つても未だ斧鉞を入れぬ森林は鬱蒼として天道を掩つてゐる無限の感あり北滿の森林すら今日に於ては坐ろ心細さを感ぜずには居られぬさうすれば須らく北滿洲地方に發展すべき必要は刻々に迫つて來てゐるのである、而も獨り林業のみならず伐採の土地は概ね原野的で地質は肥沃といふ程ではないが、農場となるべき素質は確に備へてゐる、さうすれば將來は

▽一大農場の 現出を見るだらうと信じて疑はないのである又同地方は林業と共に農業の發展を豫期すべき土地である。現在吉林省松花江流域たる撫松安圖の兩縣に於ては撫安公司が專ら採木に從事してゐるが、近來に至つて吉林省に大倉の經營に係る豐材公司なるものが出來た其他種々の公司會社が出來て大に伐採の計畫をして居る、本公司は元來北へ北へと發展を圖つてゐるのであるから此の際同省にも擴張したい希望を有してゐる猶黑龍東清へも態ては發展しやうといふ希望を有してゐるが形式及び體面を殊に重んずる

▽支那人相手 の事業であるから其困難は決して普通ではない、普通でないこともに本邦人相互の競爭的行爲を歎ぜずにはゐられない總じて邦人には彼が彼方を伐採すれば吾も彼處を伐採せんといふ樣な一大缺點を有してゐる該地方に於て營業を開始する以上はどうしても支那人及び外國人を相手にせねばならぬ其折柄、邦人相互の競爭的行爲は却つて支那人及び外國人の蔑視する處となつて其損失は甚だ遺憾に堪へない。各自德義を重んじ共同一致、國富增進に努めたいものである(東京支局)

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話(編輯)六九番(營業)三六一番 振替貯金口座京城二〇〇番
編輯人 小川三之介 印刷人 奥田直毅
前金 壹ヶ月七拾五錢 ▲參ヶ月前金貳圓 ▲六ヶ月前金四圓 ▲壹ヶ年同八圓
廣告料 五號十五字詰一行一圓五拾錢 ▲四號九字詰同二圓 ▲一號七字詰同三圓

兒童學の進歩(十一)
於朝鮮教育研究會 高島平三郎氏講演

ドンキーと呼ばれるニュートンはイエースと返事したと云ふ。私の先生である元良博士のお孃さんが或る時運動會を見て來て、お母さん大人は運動會を見て居る時と内へ歸つて運動會の事を考へた時とどちらが面白いですかと聞いた。之は理想型といふもので、其のお孃さんは茶碗にお茶が少し許り殘つて居るのを觀いて、アラッ運動會が見らる面白い事〳〵と言ふたりした。思考型は哲學者抔になる物を考へる方だから、沈着で靜かである。之は體操の先生抔には受けが惡い。其の代り持つて行き處がよいと立派になる。冷淡型は良いふと持續性があり、惡くいふと遲鈍でぐず〳〵して居る。冷淡型は一度事を始めると最後までやり遂げるといふ持續性があるから最後の勝を占める。德川家康の如きは多分冷淡型であつたらうと思はれる。冷淡型は又別に鬱發型とも云ふ。

大體人の個性は以上の種類に分類する事が出來るが、是等は兒童學の研究に依つて段々明かになつて來た。而して之は轉て教育學、倫理學及び社會政策に種々なる關係を及ぼして來るのである。私は更に進んで社會問題としての兒童と云ふものに就いて、申述べたいのであるが今日は時間の都合上遺憾ながら此の位に止めて置かねばならぬ。右は輓近に於ける兒童學進歩の概略であるが、兒童學は其の基礎を科學に置いて居るものである。どうぞ子供に興味を有せらる、諸君は子供に對する觀察、實驗、經驗に依つて更に一層確實に教育の實果を擧げられん事を希望する。朝鮮教育の目的は既定の問題であつて、今更喋々を要しない。併し乍ら、其の目的を達するには須らく個性成立の狀態を研究し適當なる方法の下に教育する事を必要とすると思ふ。此のつまらない一場の講演をお謹聽下さつた事を衷心より感謝致します。(完赤根生友三郎氏速記)

米獨立記念祭
切田太郎

七月四日紐育にて 本日は米國獨立の第百四十二年の記念祭の當日に御座候大統領ウィルソン氏は全米より集まれる各國體より成れる大行列有之參加拜禮華盛頓の墳墓に詣で同氏獨特の大演説を試むるとの事に候當紐育市に於ては四十二箇國を代表せる人員實に十一萬有餘人と註せられ行列は城七十二丁に亘り誠に天下の偉觀と申す外御座なく午前八時三十分ダイヤー將軍とマクドナルド行列總指揮官先頭となり陸軍堂々華盛頓公園を出發してより薄暮七時に至るまで間斷なき熱狂的にして愛國的なる大行列續せられ中に獨逸人の團隊ありて『我等は獨逸に生れたれど米國に育てり』との大旗を掲げて米國に忠誠の意を表明せしは當日最も異彩を放ちたるもの、一つにて候ひき我日本人會に於ても豫め兵員を設けて二百五十人の參加人員を募り神功皇后の山車等準備オサ〳〵怠りなかりしと聞き及び候處邦人の行列と山車とは全々離れ離れとなり不體裁を呈せしを目擊して甚ガッカリ致し候こは當日市當局者より時間を正確に守るべきをクレ〴〵も注意せしにも係はらず山車に搭乘すべき少數の人々が定刻より後れて到著したるが爲斯行列を二分するの止むを得ざるに至りしと申すことに候、臆

並行線(六十一)
瀧閑村

辨當を抱へて朝出て行つては夕方歸つて來る——さう云ふ日が續くうちに、松茸が出て、栗が出て、火鉢の戀しい夜があつて、遠くの山が浮出すやうにはッきり見ねて秋も漸く老いて來た。

宣太郎の仕事は役所で帳簿や書類を繰つてゐるやうな單調子ものでは無かつた、各種の工業の勃興して居る時なので、種々の試驗や調査の依賴が多いので、相應に忙しいと共に興味もあつた。

『只試驗も調査もモウ一息と云ふ所で歇めてしまふ事が多いのは、やはり自分の仕事で無いからで、どうも仕方が無いものだ、其中に何か面白い仕事を發見して自分でやるんだ。』と歸宅して、おのぶに話たこともあつた。

おのぶの惡阻もヒステリックな擧動も月を重ぬるに隨つて段々癒つて來た。

『行つて來るよ。』と出て行く夫を見送つた後は、二人限の世帶は爲すべき用もない日も多かつた。それで夫に話して裏の空地を十坪程近所の百姓を頼んで耕して貰ひ、そこへ小蕪だの、白菜だの、芋なぞを植ゑた、そして運動の爲めに草を取つたり、米の白水を與つたりした。芋はモウ收穫れても好い、程蕪が丈高くなつて居た。或時は嬰兒に著せる小さな著物を裁縫したりしてゐることもあつた。姙娠が判つてから、見舞に來た々、お村も來た、菅子も來た。

『始めての子は女がいゝと云ひますけれど、やつぱり男の方がいゝのね、男の子ならモウ後が出來なくても心配が無いから。』と云ふとおのぶは

『でも女は女の子の方が力になるし、後の子を世話させるにも都合がいゝから、上は女の子の方でいゝと思ひますよ。』

『そんなに何人も産むつもりなの。』

と大笑ひしたこともあつた。此話をしてゐるうちにも又動いた。

『ほら、又動くわ。』

と俯向いて、下腹の邊を指した。

『ごんなに動くんだもの。』と訊くと

『ごんなにッて……。』と云ひ淀んだが、

『何でも手でも動かしてるやうですよ。』

と微笑むこともあつた。

日曜などには二人の姿は折々裏の田圃に見られた。黄色になつて稔る籾を畔に伏してゐる間の里道を宣太郎はおのぶを連れて散歩した。百姓家の庭には鈴成りの柿が赤く陽に映ねて、赤蜻蛉がスイ〳〵飛んでゐた。名も知らぬ秋草の叢には引入られるやうに蟲が鳴いて、二人の足音に驚いて飛ぶ稻子を捉へて見たりした。

モウ早稻は刈られて何處の家でも女子供迄出て働いてゐた。山のやうに積んだ早稻の車を亭主が牽く、片手に土瓶を提げた女房が後押しをして行くのにも出遇つた。

滿洲から其後手紙も來なかつた、忘れることも無くおのぶは忘れてゐる日が多かつた。水底の澳は靜まつたのでは無いが兎に角に平穩な日が續いた。

宗城吟社八月例會席上(其一)

閑居夏晝　大石　松溪
小亭夏靜午風微。地僻無人叩竹扉。只看閑園幽趣狀。雞冠花上蝶低飛。
學鷗曰、眞有幽趣、

同　大垣　金陵
穩草荒園寄此軀。綠陰深處杜鵑呼。午眠方覺南窓下。閒坐思詩獨自娛。
學鷗曰、詩已成不可無酒、

公告

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

京城地方法院

○京城府光化門通リ四拾六番地 一、垈參拾參坪 最低競賣價額金參百六十參圓也 右地上ニ建設 一、木造草葺平家建本家壹棟 此建坪八坪壹勺 最低競賣價額金六十五圓也 右競賣申立人 朴聖俊 不動産所有者 李康浩

○始興郡秀岩面月波里參六八番地 一、畓千百七拾貳坪 最低競賣價額金貳百六拾九圓五拾錢也 同郡同面浦里參壹五番地 一、畓參百五拾七坪 最低競賣價額金五拾六圓六拾錢也 右競賣申立人 李俊根 不動産所有者 洪原參

○京城府壽松洞百四十九番地 一、垈九拾參坪 最低競賣價額金八百十七圓也 右地上ニ建設 一、木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪貳拾八坪 最低競賣價額金貳百六拾五圓也 右競賣申立人 李甲長 不動産所有者 金永禧

○京城府三清洞貳拾四番地 一、垈百六拾七坪 最低競賣價額金七百拾參圓也 右地上ニ建設 一、木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪貳拾壹坪七合 最低競賣價額金四百九拾九圓 右競賣申立人 山口兵吉 不動産所有者 鄭再萬

○京城府光熙町貳丁目百九拾四番地 一、垈六拾參坪 最低競賣價額金貳百六拾參圓也 右地上ニ建設 一、木造草葺平家建本家壹棟 此建坪七坪 最低競賣價額金四拾圓也 右競賣申立人 柳貞植 不動産所有者 金子明

○始興郡東面始興里 一、畑四百八拾坪 最低競賣價額金百拾五圓也 同郡同面同里 一、畑五反步 最低競賣價額金百參拾圓也 右競賣申立人 三澤佐四郎 不動産所有者 崔栽榮

一、同郡同面奉天里 一、畓參反五畝 最低競賣價額金八百貳拾八圓也 同郡同面同里 一、畓五反貳畝 最低競賣價額金九百拾七圓五拾錢也 同郡野九反八畝 最低競賣價額金貳百六拾參圓五拾錢也

○廣州郡峰山面 一、畑七反步 最低競賣價額金六圓七拾錢也 同郡同面 一、畑七反步 右競賣申立人 金應 不動産所有者 金昌麟

○京城府參拾六坪 一、木造上建設 最低競賣價額金百五拾五圓也 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟

○京城府壽松洞 一、垈六拾參坪 最低競賣價額金四百拾九圓也 右地上ニ建設 一、木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪貳拾四坪 最低競賣價額金四百八拾圓也 右競賣申立人 劉瓘 不動産所有者 鄭與

○高陽郡龍仁面東幕上里貳百貳拾番地 一、垈八坪六合八勺五才 最低競賣價額金四拾參圓也 右競賣申立人 板倉 不動産所有者 甚瀾

○京城府鍾路六丁目八拾貳番地ノ一 一、垈六合六坪 最低競賣價額金六拾六圓也 右地上ニ建設 一、木造草葺平家建本家壹棟 此建坪七坪四合 最低競賣價額金四拾八圓也 右競賣申立人 陳顯 不動産所有者 鄭敬順 湯

一、垈百拾貳坪 最低競賣價額金五百六拾圓也 右地上ニ建設 一、木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪貳拾四坪六合六勺 最低競賣價額金百七拾參圓也 右競賣申立人 林李昌 不動産所有者 奎泓

以上競賣期日八月貳拾八日午前拾時 大正七年八月貳拾

購買入札
朝鮮總督府

一、鋼索百二十五貫匁外三點 詳細ハ大正七年八月廿三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

京日案内

▲▲▲申込中後途謝絕中止の節は料金不返戻 ▲大阪以上の御申込は特に宣引のこと ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

◎金融(七)收の御方へ極秘迅速融通 京城大和町三ノ三二 起木屋

◎寫眞技師至急入用 相當技術ある者直接來談を乞ふ 仁川本町 井上寫眞館

◎代診藥局生各試名至急入用 希望者は至急京城日報仁川支局宛申込る可し

新債券發賣
六十九回 勸業債券 御用命次第即時御届け申候 光化門通(電一四四七番) 大日本債券會社

地方金融組合登記公告
鐵原地方金融組合登記(變更) 大正七年八月九日理事江原房雄ハ大正七年八月同日左記ノ者理事ニ任命セラレ就任ス
江原道鐵原郡鐵原面官田里九拾八番地 矢野棟一
右大正七年八月貳拾日登記
京城地方法院鐵原支廳

所主 上京中の處昨日歸宅業務に從事す 京城太平町二ノ二二五 南大門横(電一三四四) 坂元分拆所

事務員募集 廿五歲以上希望者は履歷書携帶來談あれ但し市內に確實なる保證人を要す 京城南米倉町 齋藤久太郎出張店

獨逸製中古ピアノ 賣物あり(電話二二〇五番) 京城舟橋町一五三番地 杉野

店員 數名至急入用 但し二十歲前後の者本人來談 三丁目 蓬萊町 酒見醬油釀造場

內地人女子募集 三十歲迄 履歷書携帶應募掛にて承合すべし 龍山 總督府印刷所

金銀細工職人募集 希望の方は御來談あれ 京城黄金町二丁目 電話一〇五番 喜多金光堂

恩給立替 金は證書引換に御渡し致します 地方の方は規定書送呈す 京城府若草町 郵便ポスト前入 電話三〇〇番 西村商會

舊恩給 日歩二厘本人直接取 五ケ年半迄利子 京城櫻井町一ノ一九八 電話五〇二番 博多屋本店

時計職金銀工師入用 希望の方は履歷書送付あれ 滿洲長春 阿曾時計店

小供入用 十二三歲より十七迄 望の向は履歷書送付あれ 滿洲長春 阿曾時計店

店員二名入用 希望者は履歷書携帶來談あれ 市內確實なる保證人要二名 吉野町一 電二八二 友田運送店

朝鮮銀行
第十八期決算公告(大正七年上半季)
貸借對照表

負債	
資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	一、九〇三、〇〇〇・〇〇
銀行券發行高	六二、五一六、三〇七・五〇
仕拂手形振出高	八〇七、五一〇・五〇
政府借下金	一、二〇〇、〇〇〇・〇〇
諸預リ金	一二四、九九八、七九〇・六五
仕拂爲替手形	五、一五三、八〇〇・三五
借入金	三〇〇、〇〇〇・〇〇
賣爲替	三五八、三八八・七二
他店ヨリ借	
松田銀行部ヨリ借	一、五〇七、一〇二・二九
本支店未達勘定	三、〇三五、三三一・八二
仕拂未濟配當金	二九三、〇二六・八二
前期繰越金	二四三、三八八・二六
當期純益金	
合計	二二四、〇五五、三二九・四五

資産	
拂込未濟資本金	三〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
政府貸上金	七、五〇〇、〇〇〇・〇〇
定期貸	八、三七一、三二六・二六
通知貸	九、八四一、三五四・三一
當座貸越	六、八九七、二〇八・八八
割引手形	五七、一一六、六二七・二七
荷爲替手形	六、七六四、五三一・九九
利付爲替手形	五、四〇七、九五七・〇一
別途貸付金	三、五七〇、六三〇・二八
預ケ金	一、一一六、九二六・五〇
假拂金	一、九八二、三八一・五〇
買爲替	
公債及債券	七、五九八、五六五・六一
他店へ貸	四、五一九、一八〇・五一
松田銀行部へ貸	八、三二一、七三三・二二
地所建物什器	一、四一四、三三二・二四
新築費	三、二九三、一一七・二八
外國貨幣	二、五八五、五七五・五八
地金銀	二、〇八二、六七四・〇四
金銀有高	二、七七〇、八八二・八〇
合計	二二四、〇五五、三二九・四五

損益勘定

一、金九百參拾六萬六千九百七圓六錢 當期總益金
一、金八百拾九萬九千貳百貳拾壹圓七錢 當期總損金
差引
金百貳拾五萬七千六百八拾五圓八拾貳錢 當期純益金
外
金貳拾九萬參千貳拾圓拾六錢 前期繰越金
合計金百五拾五萬七百七圓九拾八錢
内
金四拾萬圓 損失補塡準備金
金參拾萬圓 配當平均準備金
金七萬五千圓 役員賞與金及交際費
金貳拾壹萬九千四拾壹圓九錢 舊株配當金(年六分)
金七萬三千十三圓六十九錢 新株配當金(年二分)
金參拾五萬參千六百五拾參圓貳拾 後期繰越金

右之通ニ候也

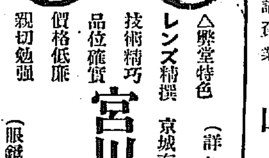
大正七年八月

朝鮮銀行
總裁 美濃部俊吉
副總裁 嘉納德三郎
理事 三島太郎
理事 木村雄次
理事 大田三郎
理事 片山繁雄

前記各項ノ調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ認ム
監事 伊藤長次郎
監事 服部金太郎

▲小說『山陰(仙人)』 ▲『物は付け』『揃めま』 ▲歌『救濟會とかけて』 ▲口噺『時事』
廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日
廿六日 廿七日 廿七日 廿八日 廿八日 三十日
▲發表後一週間以内に到着ならざる者は無効又は同案發見通告者には五十錢書籍券を呈す但何書何號と明記に限る ▲宛名は 京城日報編輯局諧謔文藝係

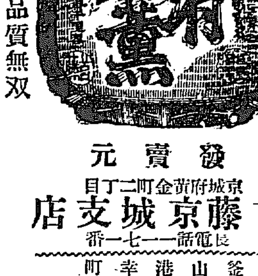
採石場 石材採取販賣 高陽郡崇仁面城北里(東小門より三丁北へ入る)
販賣所 京城蓮池洞百八十八番地 丸三組 電話一六〇四番
土木建築請負業 山本春彌

眼鏡專門

△弊堂特色(詳細定價表發行す) レンズ精撰 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉強
宮川大學堂 京城南大門通一丁目二二番地 電話二九五九番 振替京城壹貳九番(眼鏡製造工場子弟入用)

東京工科學校 一期(本科一二期)及電工高等科生徒募集
電工機械建築土木採鑛冶金科 本科一期小學卒業二期中學三年程度 本科一期中學卒業程度者 無試驗編入
新學期九月六日 願書九月五日限 授業晝間夜間 規則要郵券二錢 東京神田錦町 電本局一六七六

朝鮮總督府中央試驗場發明 各官衙指定品
エーアイ塗料 ルミナ金屬磨販賣
◇エーアイ塗料用途 壁、天井、トアー、窓枠、羽目板、屋根、煉瓦石、セメント、モータル、木材、金屬ボイラー、煙突、ペンキ下塗等
◇エーアイ塗料ノ特徵 耐水性並大ナルチ以テボイラー煙突タニ塗布スルコトヲ得、一層粘着力極メテ強ク決シテ剝落ノ虞ナク他物ト接觸シテ附著スルコトナク光澤ナキチ以テ和洋家屋ニ塗布シテ優美ナリ一ペンキノ如ク異臭ナク使用セバ極メテ經濟的ナルコト他ニ類ナシ
△ルミナ金屬磨用途 眞鍮、銅、ニッケル、其他錆チ除キ一切ノ金屬チ磨クニ最モ妙
價格原料高騰セルニモ不拘從來通リ價格チ以テ發賣ス市場ニ散在セル各種多數ノ品ハ概チ缺點アルチ免致ニ就テ値上セズ在來於テ研究ノ結果物資セラレタル理想的ノ良品也
朝鮮一手販賣元 京城太平通二丁目(電話七二七・振替京城三二七九番) 石捉崗 西崎商會

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編 第二改訂版 定價一圓 郵稅八錢
朝鮮不動産商業登記申請書式寶得
本書中不動産登記の部には土地調査に關聯せる不動産登記法に依る申請書式(官公署の登記に關する囑託書式を併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、保證書、建物圖面及共同擔保目錄等の書式を掲け加之官通牒例規等に關する說明を附記し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し、且一讀何人も了解し得べき程度に之を編纂せり、土地所有者、不動産上權利者、會社代書者必備の參考書たり。
發行所 京城太平通り一丁目 京城日報代理部 電話六〇〇番 振替京城二〇〇番
取次所 京城本町一八 大阪屋號

醇良無双清酒 衞生無害品質無双

發賣元
京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 電話長一七一一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 電話長三四三番

平壤小野田セメント會社製
石灰一手販賣
京城古市町 苫米地商店 電話九四一・三一〇八番 振替京城五三番

◇對西露禁輸要求

露國公使は十九日協商國側を代表して外交部に對し哈爾賓より松花江を經てハバロフスクに輸出さるゝ多量の食糧品は過激派の手に歸するを以て公文を以て是が輸出禁止を要求せり（北京特電）

◇印度兵新疆に入る

獨墺俘虜侵入防禦の爲め

新疆督軍の報告に依れば印度兵武裝して天山南路及び喀什噶爾（新疆の中心都邑）に來る者漸次其數を增加し目下八百名に上れりと右は印度總督の命に因り獨墺俘虜の印度に侵入するを防禦する爲めなりと（北京特電）

◇北滿國防軍總帥

北滿國防總司令として靳雲鵬氏任命されたり（北京電報）

◇馮曹新結黨說

安福俱樂部分裂の兆あり馮國璋曹汝霖兩氏は別に新政黨を組織すべしとの說あり（北京電報）

◇王揖唐議長當選

二十日午後衆議院に於て議長選擧の結果大多數を以て王揖唐氏當選せり（北京特電）

◇莫市革命黨支配

露國社會革命黨は全く莫斯科を支配するに至れり（倫敦電報）

◇玖馬日本に設館

玖馬共和國は今回日本に領事館開設の事となり同國官吏目下渡日の途中にあり（ロイテル電報）

◇米軍總死傷二萬

開戰以來米軍死傷總數は二萬一千五百五十二名にして中陸軍の死傷者數は一萬八千七百九十七名なりと傳へらる（ロイテル電報）

◇米國石油價公定

米國燃料管理局は今回石油價格を公定する事に決定せり（ロイテル電報）

◇ロア驛聯軍占領

ロア停車場は聯合軍の爲め占領されたり（倫敦電報）

◇山縣公歸京か

小田原滯在中なる山縣老公は近く歸京すべしと傳へらる（東京特電）

◇憲政會兩總務 山縣公を訪ふ

憲政會總務安達謙藏、濱口雄幸兩氏は二十日小田原古稀庵に山縣老公を訪ひ現下の時局に關し種々聞く所ありたり（東京電報）

◇加藤子又避暑

加藤憲政會總裁は廿二日又輕井澤に避暑せり（東京特電）

◇內相の訓令

水野內相は四國九州の各縣知事に對し騷擾に關して夫々訓令を發せり（東京特電）

◇芳澤參事歸任

賜暇歸朝中なりし北京日本公使館芳澤參事官は二十二日東京發北京へ歸任の途に就けり（東京特電）

◇嘉義丸就航

大連內地間連絡船嘉義丸は或任務を終り二十八日より從前通り兩地間の連絡航路に就く筈也（大連特電）

◇古屋領事歸朝

遼陽より布哇に轉勤を命ぜられたる古屋領事は二十二日朝安東通過內地に向へり（東特電）

◇河田教授北行

京都帝大河田教授は廿二日午前十時半安東驛列車にて奉天に向へり（安東電）

◇全州稻作回復

全州方面の稻作は打續きての降雨に氣遣はれ居りしが天候回復せし爲め農民は喜び居れり（全州特電）

◎物價連騰す

朝鮮銀行調査に係る七月中の京城重要商品物價の前月比と騰落狀況は騰貴二十一品保合六品低落五品にして例により之れを各品別に舉示すれば左の如し

▼朝鮮生產品

▲騰貴十三品 玄米、精米、大麥、大豆、小豆、粟、明太、鹽、木綿、松挽材、松薪、炭、紙

▲低落二品 小麥、牛皮

▲保合三品 葉煙草、鑛原油

▼輸移入品

▲騰貴八品 麥粉、醬油、麥酒、綿糸、和金巾、綿花、石油、金物

▲明太魚 產地の品薄盆前の仕入期等にて市價保合入荷少く取引閑散なりし

▲鹽 一般閑散期に屬したりき捗々しからず然し浦鹽方面漁業鹽の輸出、安東縣鹽の輸入減等市況強含

▲松挽材 一般需要期に入れる爲價格騰貴勞銀不廻の爲め生產手控賣行閑散に ▲綿糸 在庫品僅少花行海輸出の盛況米棉の凶作說需要の近接あり強含み ▲和金巾 中綿原糸の昂騰一般需要界の好況に逆れ相場上騰取引閑散花布海し

而して指數は主產品二二五、九四（明治四十三年十月の物價を一〇〇として）にして前月に比し一三、八〇を騰貴し移入品は二四五、五〇にして前月に比し二、四の下落を示し居れり各騰落の狀況左の如し

▲騰貴名品 ▲玄米及精米 地方米の供給見込內地御用米の買收農家の高借、當業者の思惑等諸種材料續出し逐日連騰を示し商狀堅調なり ▲大豆 內地市場の買進米價の昂騰等に刺戟せられ市況強硬を見せしも品薄の爲め見るべき取引なし

▼低落保合 牛皮 內地市況不味、地方牛價の高騰市況一般不勢なるに加へ目下居牛閑散の爲出廻不振相場下押せり▲精鹽 前月來在荷豐富更に米高の關係より賣行良好ならず軟弱なり▲燒酒 內地仕入價格の騰貴諸掛費增高の爲本月十日より一升一圓五十錢の値上げを斷行せしも夏期不需要期の事とて市況閑散保合商狀なり

◎東拓の移民表彰

東拓會社にては昨年設けられたる表彰規定により各出張所より選拔して更に選定して左の六氏に對し第一回の表彰をなす由なるが何れも數年間農事に勉勵し內鮮人農民の模範となり農事改善に努力しつゝあるものなりと

▲京畿道水原郡安龍面安寧里石坂松五郎▲全北金堤郡扶梁面堤月里小松省二▲全南羅州郡細枝面東亭里仁田平次郎▲慶北慶州郡內東面舊門里江上寅次郎▲慶南金海郡左部面南驛里秋山熊太郎▲黃海道鳳山郡靈泉里谷川市村正司

◎西部戰場近況

一旦進出したる獨軍は局部的戰線に薄弱なる箇所生じたるに依り全線に亘り整理するの必要あるを認め後方の▲退却準備 をなし混亂に陷らざる程度に於て漸々退却を續行せんとするを早くも察したる聯合軍に於ては機乘すべしとなしノワイヨン及ランスに到る線に於て一直線に大進出をなし目下ヴェール、エーヌ河畔に於て對峙しつゝあり一方西方ピカルヂーの進出部に於ても獨軍は本月八日を以て退却を始めたるが是れより前此の方面の獨軍凸出し居る爲め聯合軍は東北より西南の交通を脅かし勝ち困難なる爲め此の方面の敵軍を掃蕩せんと策戰を廻らし居りしが▲敵軍退却 を始むると共に東北方ソンム河南に向つて戰鬪を開始したる所東南方の獨軍は案外薄弱なりし爲め此方面に於て先づ潰れ來りたれば聯合軍に於ても策戰を變じて東南方の獨軍へ主力攻擊を加へたり此の戰鬪の爲去る九日朝に於て聯合軍はモルクール、レースクール、ロジエール、フーショアール、ピエールボンを奪取し俘虜一萬八千を獲十日午後一時に至りてはリボン、メアリクール、ループロア、チスノアーの西方ニエール、ファーブロール、レッソンを占領し約二十基（約五里）のソンム河南に向つて獨軍を壓迫しつゝあり獨軍の退却地點は何れの線にあるや豫知し難きも今回の退却は豫定の行動にして是れを以て此戰鬪を獨軍鋭鋒脆弱したりと見るべからず、成功と認むべきはイーブル南方リス河畔にありし敵軍が英軍の壓迫により本月十日ベチユース北方ビール間に於てル、サール、コロンに退却せしめたる事なれど以上の占領地點を以て全線に影響すべくもあらず此際聯合軍が今一段の奮鬪せんことを望むものなり（通信課）

◎朝鮮と簡易生命保險（五）

事業の發達と強制貯金（上）

時代の推移は日一日と社會凡ての事業に生產能率の增進及び廉價供給を要求して止まず、此結果は製作方法の規模は小より△漸次大 となり、分業愈々細密を加へ昔日或一箇所に於て一事物の完成を見たるものが現今に於ては數箇所に於て部分的に作製せられ以て製作能率の增進を圖り廉價供給の方法を講じ社會の要求に適合しつゝあるの狀況なり此製造能率增進の要求は軈て個人經營の所謂家庭工業を漸次衰頽落ちする因を誘致し遂に多數の失職者を出すに至り社會政策上寔に忽諸に附すべからざるの結果を招致すべきは明瞭なりとす、例へば彼の刻莨の製造者の如き昔日は其の大部分の製造者が其の製造より包裝等に至る迄全部家庭的工業に屬したりしものが、多數の職工と大なる動力を用ゆる△大工場の事業 に變移しつゝあるが如き最も著るしき事例なるが其他現今尚家庭工業に屬するものと雖も漸次大規模の工場に移りつゝある事例少からず是即ち家庭工業は其の資本に於て將た又其の生產能率に於て大工業に敵する能はざるが故に隨て其の價格に於ても遂に遲延を生じ經濟上に於ても又對立し能はざるに至るを以て從來の△家庭工業 者は到底是を以て自己の本業として將來を維持し能はざるや瞭然なり、此趨勢は即ち時代變遷に伴ふ諸工業製作物の推移にして又已むを得ざる狀態なりとす。斯の如く世運の變移は家庭工業より大工業に移替するに勢ひ是等家庭工業者は漸次此等大工場の職工に轉職せざるべからざることゝ將來益々多きを加ふるを以てるも器械動力を用ひ而も分業的製作の組織に成れる工場にありては多くの職工は體力氣力の旺盛なる比較的壯年者を選ぶを以て此場合家庭工業の從事者たりしものが壯年者に非ざる時は工場は△是等の採用 を拒止するのみならず既に多年就職の職工と雖も年齡加はり精力衰退したるものは製作能率の減退を防ぐが爲之を廢除するを以て家庭工業に於て安易なる生活を營み得たりし老年者も忽ち職業を奪取せらるゝに至り他に適當の職業を選ばざるべからざるも既に相當年齡を經過したるものは全く經驗なき職業を選び從來と等しき生活を營むは頗る困難とする所なるが故に從來家庭工業によりて老年まで安易生活を營み得たりし者が其晚年に於て如上の結果生活上の苦痛を訴ふるに至るは必然起るべき問題なりとす

◎朝鮮在米調査（九）

及び新米出廻迄の過不足見込量

＝本社に對する各府郡の回答＝

▲光陽郡（全南）在米千五百石新米出廻り期迄過不足なし ▲堤川郡（忠北）在米五千七百三十石新米出廻期迄不足二百七十石 ▲居昌郡（慶南）在米七千五百石新米出廻り期迄過不足なし ▲泗川郡（慶南）在米七千八百石新米出廻り期迄過不足なし ▲平壤府（平南）在米五千石新米出廻り期迄過不足なし ▲德川郡（平南）在米四百石新米出廻り期迄不足百石 ▲富川郡（京畿）在米三千二百五十石新米出廻り期迄不足三千七百五十石但し此不足額は麥其他の穀を以て充分とす ▲潭陽郡（全南）在米一萬二千石新米出廻り期迄剩餘千三百石 ▲始興郡（京畿）在米三百石新米出廻り期迄不足五千四百石

◎大阪より

▲木材不振 夏枯時の木材界は一般に市況沈靜し建築事業も一時の如く旺んならず中流以下の建築は皆無の有樣にて用材たる杉、檜類即ち內地の需要は相當に無きにあらざれ共、北海松材の賣行きは皆無の狀態にして元來中流以下の貸屋建には北海松材の應なるより旺んに賣出められたるも原地よりの運賃騰貴せる爲め間接は手控筋となり、又從來多くの需要ありたる製函も全然米の禁輸に逢ひたる爲大打擊を蒙り爲に需要の減退を來し、從つて市場相場も近約七百圓より七百六七十圓當りを唱へ、在荷薄なるも採算合はざるの爲め買手無の有樣なるが問屋筋は秋期取引を希望し居れり

▲燐寸合紙好調 燐寸合紙は昨今燐寸輸出好況の影響を受け昨今頗る好調にして註文殺到する狀況を呈せり而して價格は目下一封三十四五錢なりと

▲銅價反撥と前途 既報の如く銅價公定相場の据置きに伴ひ市場の引下げを豫想して買進みたる手筋の投げに相場は七十三圓所より六十八九圓に暴落したるも安値待ち大手筋の買進みと何分在荷薄なる一方支那方面の需要起しに昨今七十二三圓所に反撥するに至りたるが這般の高價七十六圓所に此暴騰を回復するは至難なるを以て目先此邊の値段にて保合の櫂に過ごすべきもの如く觀測されつゝあり

▲煉瓦大暴騰 煉瓦界は原料の昂騰勞銀の引上と運賃の三四割等に依り現在の相場にては引合はざる爲め各煉瓦會社一致して更に二割引上を決定し此頃發表せるが現在廿四圓の相場は廿七八圓に暴騰し空前の大暴騰なるを以て需要は一寸買控への姿なるが目下各煉瓦會社共既に現品を拂底して品拂底の折柄なれば急需に應ずる能はざる爲め何等の影響なく又需要側も暴騰に拘らず急需向の註文も弗々あり製造側は何れも氣強にて月末三十圓臺を豫想し居り

▲輸出綿糸布影響 三品相場四十圓の本年最高相場を現はし目下尚四十四圓所を往來し居る爲め綿絲輸出方面は支那向の外殆ど不出合を初め海外一般は又は杜絕の狀態となり一方旺盛を極めたる綿布類も印度向は既に明年三月頃迄の先約成立せし爲め何等更に新規取引を行はず南洋方面の買進筋も亦手控への狀態となり綿絲布海外向は急に火の消えしが如き閑散狀態に陷りつゝありと（大阪支局）

◎山元獨津輕鐵

鏡城郡生氣嶺炭坑にて豫て工事中なりし山元より獨津に至る輕鐵敷設工事は愈々竣工に近づき運轉開始も間もなき事となれるが之れと同時に石炭の採掘を大規模に行はるべく十月以降は每月四千噸宛を搬出する豫定にて目下其準備に忙殺されつゝあり搬出の徑路は輕鐵にて獨津に送り之れを淸津に廻送したる上汽船積となすべきが目下日本海横斷航路共船腹不足にて汽船を利用する事至難なるを以て勢ひ鑛山專用の汽船をチャーターする必要あり四千噸の石炭も充分に引合ふべく又生氣嶺の石炭は粗にして機關用に使用されずと傳へられ居るも實際に於ては充分機關用として使用され現に裏日本方面に於て試用の結果成績良好なるより續々註文あるが値段は敦賀揚げにて噸二十四圓にて掛け他の石炭とは八圓方の値開きあり尚ほ陶土採取機械は既に基礎工事を了り今年一杯は試驗的に作業し來年より愈々加工陶土を生產するに至るべしと（清津）

◎露貨換算率變更

東清鐵道にては十八日より日滿連絡運輸に適用すべき日露貨幣換算率を百圓に付五百留と變更せし旨朝鮮鐵道京城管理局に通知ありたり

◎鮮銀十年史

朝鮮銀行にては大正八年十月は創立十年に相當するを以て記念のため創立十年史を出版し鮮銀の歷史を主として鮮滿並に各地の經濟狀態變移を記錄すべく最近中外商業新報より同行調査局第一課に入れる澤田司事主として編纂に從事し居れり

人事消息

◎水谷鑛業所長入京 平壤鑛業所長海軍機關少將水谷千萬吉氏は廿二日夜入京南大門旅館へ投宿せり

▲服部東直氏（平北鑛業家）廿二日夜入京天眞樓へ ▲小林武氏（農商務省鑛山局技師）同上旭城館へ ▲吉田熊次氏（東大文科教授文學博士）廿二日退京元山へ

鳥瞰雜俎

既に古稀に餘れる七十六歲の老軀を提て國難に當り▲而も毫末の澁滯をも露はさゞるの一事に見るも其精力と勇氣と熱誠の如何に深大なるかを說明して餘ある佛國のクレマンソー氏はたしかに當代大政治家中の第一人者である▲佛國人が同氏を信用する事は殆ど一世を崇拜した程度である▲而して佛國民はクレマンソー氏に依て佛國は救はるゝのだと信じて居る▲其れも最もな話しで實際十年以前から同氏は今回の歐洲大戰亂を豫知し頻りに英國を動かして佛國の援助を求めて居た程であるから▲千九百八年の四月クレマンソー氏は時の英國外相サー、エドワード、グレー氏を提まへて▲獨逸が若し白耳義を突破し佛國を攻めて巴里を占領したら英國は何うする」と意外な質問を發した▲グレー氏は其れは英國でも騷ぐのだらうと答へた▲するとクレマンソー氏は成丈高になつて何と仰しやる騷ぐ騷ぐ丈けでは何にもならぬ▲吾々を助けて貰ひたい▲其れも十萬の兵で獨軍を喰止める事は出來ぬ二十五萬あれば止める丈けの事は出來やう▲而し敵を撃退するには五十萬の兵を要する英國には二十五萬の兵もない早速揃へる必要がある蓋し兵隊は急造が出來ぬが武器彈藥は急には出來ぬと云つた▲同年八月に英國先帝と墺太利の溫泉場で落合つた時も同氏は盛んに英帝に此の主張を論じて居つた▲而してグレー氏の云つた事を英帝に話し英國政治家が島國的に安心して居る結果歐洲は必ず大戰亂の慘劇を見ると云つた▲果して其言の通り十年後の今日は何うであるクレマンソー氏の豫言が的中したのみならず▲或は同氏が想像したよりも以上の大戰亂を捲起して居る▲此の點から見てもクレマンソー氏はたしかに偉大なる老政治家と云はねばならぬ▲佛國の運命は實に此大政治家の双肩に掛つて居ると云つても別段異存はあるまい

◎米國經濟狀況

[illegible]弗にして政府の豫定より二億七千[illegible]供給の不足より生ずる生產の減退[illegible]定しある以上の利得を收めたるも[illegible]めて順調の觀あれども其の前途に[illegible]同樣にして炭坑に於ける勞力の缺[illegible]堪へざるもの數多あり然れども今[illegible]を斷言することは能はずと思はる

◎哈市浦鹽交通

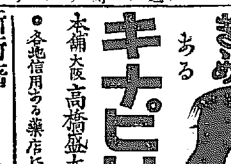
[illegible]車內に於ても支那人の窃盜乞食等他の一列車は裝發共に正確ならざるが如し又哈爾賓、滿洲里間も同[illegible]一時二十分後の急行列車は五十分釜山を延發せり（釜山特電）

競爭入札購買 朝鮮遞信局 一、送受器送話口外三十一點 詳細八月二十三日本府官報ニ在リ

公告 一、擔桶 五百個 來八月二十七日午前十一時入札ス 希望者ハ當府門前揭示ヲ見ヨ 京城府

最新刊 書名 著名 定價
國歌大觀 松下、渡邊共 一五、〇〇
帝國の危機大戰 る野中春江 一、六〇
わかくさ少女文集 研究社 〇、六〇
▲朝鮮語の先生 李佃登訓 武拾錢
ゲーリー式の學校 田中光特 〇、七五
新らしき村 生活 武者小路 〇、八五
米國大學と日本學生 加藤勝治 〇、六五
高杉晋作 野瑞 一、四〇
韓國世儀 柏樹 一、二〇
東海道膝栗毛輪講 三村 一、二〇
▲大正七年遞信地圖 遞信局編 折疊 五拾錢
中學新書 翰今村 勝一 〇、八五
書翰文規範及文例 坪內 孝 〇、八五
自覺的遊戲教授の革新 高島平三郎 〇、七〇

京城本町 大阪屋號 電話 振替京城二五五三番


一番よくきく かぜねつさまし 一ぷくにてきゝめある キナピリン 本舖大阪 高橋盛大堂藥局 ●各地信用ある藥店に販賣す

新荷著 スイツル製

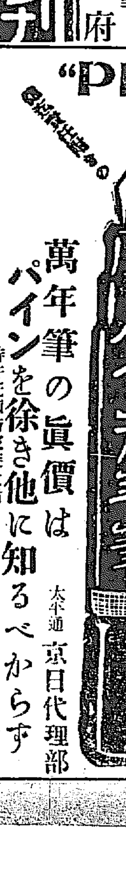
懷中時計
アンクル機械 懷中時計（▲印はラヂューム入）ニッケル側十八型 ニ、五〇 片蓋アンクル 同 三、五〇 同 同 四、五〇 シリンダー 同 七、〇〇 同 六、〇〇 アンクル 同十七 七、〇〇 同 二、〇〇 同 五、〇〇 同 同 八、〇〇 同 三、〇〇 同 三、〇〇 銀側十六 二、〇〇 同 ▲十九 六、〇〇 片蓋 ▲十七 二、〇〇 兩蓋 ▲十八 四、五〇 同 ▲十八 五、〇〇 同 ▲十八 八、〇〇 同（目覺） 金側 百圓以上 五十圓迄
腕卷時計（▲印はラヂューム付）ニッケル側十三 四、五〇 片蓋シリンダー 同 七、三〇 同 同 七、六〇 アンクル 同 八、〇〇 同 同十四 九、五〇 シリンダー 同十三 九、五〇 アンクル 銀側 四、〇〇 同 同 六、〇〇 同 同 五、〇〇 同
右は今回新著の商品にて本社自慢の品に有之候 尚其他時計附屬品一切取揃へ居り候 地方は代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計 蓄音器 ミシン機械 自轉車 洋酒 各國貨直輸入商
イングレッシー商會 本店京城本町二丁目 電九七二

山なす衣裳もむし穴一つで廢物となる
ゼヒ御用意あれ 鐘馗印を 虫除の力秀づることたしかに萬國一
定價 小形金五錢 中形金十錢 大形金十五錢 碁石形金廿錢 各地藥店にあり
發賣元 大阪道修町 東京本町 藤澤友吉商店

秋蠶種 特價金六拾錢 送料弊社負擔
京城府龍山 東蠶社 電話龍山六四一番 振替京城二六二一番

麥酒界の明星 風味芳醇な サクラビール は 都鄙到る處 賣行全く飛ぶが如し 各位の御愛飲を乞ふ

"PINE" 一點の非なき 最近精巧の品


愈々書き具合能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず
特許既願防破裝置附
不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕
繰出式萬年筆	金六圓八十錢
インキ止式短軸	金四圓九十錢
インキ止式實用向	金三圓八十錢
パイン學生號	金二圓八十錢
ビジネスペン（事務用）	金一圓九十五錢

太平通 京日代理部

[illegible]集を終り赤十字社、基督教青年會其の他各種の基金募集は何れも豫期以上の好成績を示し又昨年度の租稅徵收額は三十六億七千二百萬[illegible]於ても諸工業の利得、勞働者の收入等大に增加し其の購買力は旺盛なれば大なる悲觀を爲すの必要なかるべし但し勞働者の缺乏、石炭[illegible]くは禁止等の起るあらば夫は別問題なり各種の工業殊に製鐵、製銅、製粉其の他軍需品製造所等は何れも昨年政府が戰時利得額として認[illegible]以下[illegible]浪費は頗る盛んにして百貨商店及び演劇場等の繁昌は實に素晴らしきものなり ▲前途の不安 目下の經濟界は極[illegible]一月迄には必ず四百萬人の兵士を養成すべしと聲言しつゝあるを以て此方面に勞働者の吸收せらるゝ數愈々多きに依る石炭の供給も亦[illegible]の新設等は之なき中[illegible]輸送に要する船腹增加の爲輸入制限若くは禁止令の範圍を擴張するが如きことは之なきや等數へ來れば不安に[illegible]の輸入制限又は禁止等は容易に行はれざるべしと觀察を爲せるもの多數なり但し之とても戰局の推移に依り如何に結著するや今より之

國からは何れの國も當然のことであるこ云つて同意して居るでの、無論米國も同意して居る、英佛伊また然りぢや（東京支局）

[illegible]哈爾賓、浦鹽間の交通狀態を聞くに支那軍の哈爾賓出兵以來北滿の秩序稍恢復せるも日本人に對しては何ごとなく不穩當の待遇をなし列[illegible]節なきにあらず斯くて東清鐵道は兎も角哈爾賓、浦鹽間に一日二回の列車運轉をなし其の中一回は郵便列車にして定時に發著するも

◎急行列車延發 廿二日朝入港の連絡船新羅丸は海上風波の爲め定刻よりも遲れて午前十時五十分釜山に到著せる爲め午前十

◆ハンモック—みどり兒が肥ねて旦の聲涼し

◎一旦戰鬪開始さるれば 一と溜りも無く 敵は退かん—北滿我軍の銳鋒

既報陸軍省公報中の『滿洲里附近戰雲』の記事に就き某軍事通は語つて曰く、ツアガン方面のセミヨノフ軍は滿洲里に前進し我藤井將軍の枝隊は海拉爾より滿洲里に向ひチエツク軍、支那軍も北滿に出動し藤井中將の指揮下に活躍す可く勢ひ熾なりされば滿洲里、マツエフスカヤ方面の敵軍（赤衞軍、獨墺俘虜）步、騎兵合せて八千裝甲自動車、飛行機の準備あるを以て却々に輕視す可らずされど我軍の士氣は倍々旺盛にして敵軍の士氣は沮喪せるを以て一旦戰鬪開始さるれば一溜りも無く敵の後退我軍の前進となる可し而して我軍にしてチタ、カルイムスカヤ方面を完全に占領せんか敵軍は聯絡遮斷の虞あれば滿洲里、チタ間に於て一大決戰を見るに至らんか（東京特電）

◎國境守備が目的ぢや

★滿洲里に出兵した理由★

大事な東清鐵道を獨墺俘虜が脅威し始めた、日本兵が行けば支那兵も强くなる

參謀次長陸軍中將 田中義一氏談

滿洲里附近に出兵を爲たのは獨墺俘虜軍並びに過激派軍の支那邊境に對する脅威を一掃せんが爲めなるは勿論ぢやがの、一口に言へば一體支那兵が弱いから支那と共同して出兵したのぢや、あそこの東清鐵道は大切な所ぢやでの……從つて滿洲里は

★重要な位置 に當るのぢやさういふ所ぢやから獨墺俘虜が入つて、あそこいら邊を脅威してゐるのを、日本としては手こして見て居られんからの、そこで、日支軍事協約に基づいて共同防敵をすることになつたのぢや、即ち支那は兵力が微弱な故、

★支那に力を 添へて遣らうといふ事で出兵したのぢやの、所謂國境の守備を嚴にすることいふ目的に外ならない、國境の守備を嚴にするといふことは、居留民を安固ならしめることになるのぢやの……急いで兵を出す必要があつたもんぢやから、取敢ず滿洲守備軍を移動させる事にしたのぢや、餘り多數では無いが、日本兵が行けば支那兵も强くなる

★獨墺俘虜軍 の指揮下にある赤衞軍過激派といふ奴はあそこの北方に三萬ばかり居るのぢや、今回の出動は彼是世間では云爲するものがあるけれど、聯合

外米の炊き方研究

▽支那風の燒飯にする

冷飯の始末に苦心するより殘さぬ樣に工夫するが良い

一般に外國米は不味いとか臭いとか粘りが無いとか云つて嫌はれて居るやうである、一體外國米のボロ〳〵するのは原產地たる柴棍邊で精白してから日本へ輸送する

▽途中で蒸 れる爲で原產地邊では決してボロボロしないさうである次に臭味は運搬の途中容れ物や其の他の積荷から移る爲で有るから炊く前一晝夜水に漬けるとか或は糯米を混入するとか或は出汁昆布を入れて炊くとか又臭味を消す爲めには乾牛蒡の一片又はその葉を入れるとか梅干を入れるとか

▽氷醋酸を 入れるとかすればよい、某女史の實驗によれば外國米七合麥三合の混炊か若くは粘りを出す爲に外國米と麥と日本米とを三分の一宛混ぜるとか糯米を少し入れるとかすればいゝ、さうである尤も今度の外國米は以前に輸入したのよりは極めて質が良好で二三日喰馴れると苦にならない、さうだ外國米は日本米に比して

▽脂肪分と 蛋白質が多少不足なのは事實で有るが其の不足分は副食物で補へばよいそれには豚か牛の小間切れかバラ肉を野菜と煮込んで喰れば外國米の副食物として最もよい夫から御冷飯の始末は夏はライスカレなりチキンライスにし冬は雜炊か支那風の燒飯にすれば結構喰られるが冷飯の始末に苦心するよりも殘さないやうに工風するのが主婦として賢いやり方である、兎に角此の安いのを食はぬのは

▽不了簡で これによつて日本米はその價を牽制されて自然に廉くなるに違ひないから云はゞ一擧兩得とでも云ふべきであらう

◎調節を意味して居る

▽……東拓會社の廉賣米……

だから買切れたら仕方がないが有る內は細民に限らず誰でも買つて好からう

—某消息通談—

貴紙十九日夕刊所載京城救濟會某理事談同談の記事に依り市中の某々有志諸君は自己の寄附金を細民救濟には醵出するも廉賣が斯くの如きを意味するに於ては廉賣方面には醵出するを得ずと紛議を救濟會理事者側に再考を促せ！向きさへありと聞くこれ全く廉賣が米價調節を意味すると言ふ意志の

◇徹底を缺 きしものにして目下京城救濟會が廉賣に供しつゝある白米の大部分は東拓が昨今の昂騰せる米價を幾分にても調節せんとの目的より其の廉賣行爲を救濟會に委託せるものにして全く米價の調節に因り一般府民が抱持せる生活に對する不安の念を幾分にても除去せしめんとの意味に外ならざりしなり直接細民をのみ救濟すと謂ふが如き變哲なる意志を意味せず即ち東拓は廉賣の第一義として米價の調節緩和を目的として自今の經濟界を其の

◇攪亂狀態 より救濟し以つて米價に對する不安部分を安全ならしめるとの主旨に依り自己の持米の殆んど全部を提供して廉賣に附せむ計畫を樹てたり而して東拓が此際に及んでも只徒らに賣惜しみ思惑等に依り米價を昂騰せしむる奸商輩の向ふを張り以つて調節難に斡旋しつゝあるは寧ろ其の使命として誇り得る事柄に屬せり而かも目下救濟會が廉賣に供しつゝある白米中の三分の二は東拓の持米を以つて之れに充て殘りの三分の一は所謂篤志家の寄附金に據りて米價に供給しつゝあるのにして某評議員が廉賣は米價の調節を意味せりと論じたるより何等不都合乖離の餘地無き事直なる勿論と見るべきものなり東拓の廉賣振當つて米は

◇籾五千石 なるが故に精米の結果は約二千石を算するに至るべく此の東拓米全部が廉賣に附し終られたる曉、即ち廉賣が救濟會の米のみとなりし場合は救濟會の所謂細民のみの救濟を其の目的として第一義に置き中流以下直接生活に窮迫しつゝある細民以外の人士は廉賣米を購求する事なく直接米商より購要すべき事とするも又異議なき所たるべし而して若し斯くの如き時機に到達したる場合は現今の如く一等白米の賣出しを敢て拒絕するの必要なく、白米、外米若しくば

◇粟を以て 之れに充當するも可とすべし等の論も出づべきが今は幸にして未だ斯くの如き時機に到達し居らざるなり乃ち東拓にては其の主旨として資精思惑等に因り徒らに昂騰せしめられたる米價を此際一時にても調節し逼迫せる人心を緩和せしむるを得ば幸ひなりてふ論點より自然一時に多額の米を賣出めらるゝ事を欲せず成る可く廉賣の期間を延長し持久力を强うして廉賣を永續せしむと强なるは調節の意味上當然の目的たらずんばあらざるなり

◎米屋の打擊

店頭客の影を絕つ

米廉賣の好況に伴ひ就中鮮人米商の被る打擊は非常なるもの、如くこの儘同廉賣繼續せば勢ひ米商は破產の外なかるべしと唱へられ居れるが現に東大門市場に於ける十八日來の狀況を聞くに購求者は全くその跡を絕てりと

◎高い元山の米

△警察から……米屋へ注意

元山の米價は咸南地方一般に下落の傾向あり既に白米小賣り相場一升三十八九錢に低落したるに係はらず尙依然として四十六錢を持續するより元山署にては府內米穀商に對し各出昂騰の場合に於て引上げたる相場なれば下落の場合に於ては引下ぐべきが至當なりとの意味に於て注意したりと

◎悲慘事＝人殺し自動車

▼—孫危篤の報に接して驅け付ける途中

自動車に轢かれて己れ先づ死し

△—次いで產褥に在る長女危篤に瀕す

大連市會議員堀內藤三郞氏は二十一日民政署樓上に開かれたる出征軍人後援協議會に出席中滿鐵病院に入院中の孫危篤の急報に接し中座驅け著ける途中午後五時頃播磨町勸業稚園前にて是れも協議會に出席中の滿鐵沙河口工場森工場長を迎への爲め沙河口より疾走し來れる第四十一號自動車に轢き倒され胸部其他に重傷を受け直ちに附近の中村病院にて手當を爲したるも午後六時頃絕命せり此知らせにより產褥にありし同氏の長女は中村病院に驅け著け卒倒して生命危篤なり尙大阪町遊廓仲居兼支那人コックは二十日夜八幡町にて自動車第二十二號に轢かれ重傷を負へり、近來大連は自動車事故頻發せるより市民怨嗟の聲絕へず（大連電）

◎五龍背の不法巡警

我巡査に抵抗せんとす

廿一日午後三時頃五龍背支那溫泉宿主人を賭博犯なりとて支那巡警五名にて拘引せんとするを我駐在巡査は其の不都合を詰りたるに巡警等は談合して抵抗の氣勢を示せるより我巡査は守備兵の應援を得て右の巡警五名を取押へ安東に引致し來りしより目下我官憲に於て取調中なるが支那官憲より右巡警引渡方に就き交涉中なり（安東特電）

□京城の米價

京城府內の米價は昨今左の通りにして大體に於て本町署管內よりも鍾路署管內の方割安なり

▽鍾路署管內

一等米一升廿六錢五厘乃至卅一錢
二等米同 廿六錢より卅一錢
三等米同 廿三錢より廿六錢

▽本町署管內

一等米一升卅五錢より卅八錢
二等米同 廿六錢より廿九錢
三等米同 廿三錢より廿七錢

◎慶北輕鐵開通 十九日不通となりたる慶北輕便鐵道は二十日午後一時廿五分大邱發列車より開通運輸を開始したり

◎洛東江增水 二十二日午前六時洛東江の增水は十五尺三寸に達せりと

◎辛い苦しい月給取

質屋の暖簾を潛らぬ者なし

尙切しながら高い米を食つてゐる中產階級は日一日と困窮の淵へ

京城では施米、廉賣米といろ〳〵な救濟事業が出來たので、下層民はやれ〳〵と安心したが安心出來ないのは中產階級と呼ばれる月給取りである事は本紙にも屢々報じたが昨今頻々として編輯机上に舞ひ込む投書を綴つて見ると、一樣に細民と極り勞働者と名がつけば嬰兒を背負つてゞも

◇…廉賣米 を買ひに行く事が出來るが昨日まで體面を繕うために無理算段までして居た手前、急に手の裏を返すやうに貧民の眞似も出來まいと云ふのは虛榮しなくとも人情の然らしむる處、切齒しながらも附け付けの米屋に御用を申し付けて居るが腹の中では

◇…血の淚 で勢ひ他の方面で極端な節約をしなければならなくなつた、其結果西洋洗濯屋ではメッキリ仕事が減り、臺所の電氣はランプとなり、洋品店は瓦落と客足が絕え只景氣のよいのは質屋ばかりで此節では五六十圓から百圓位までの月給取で質屋の暖簾を潛らない者はなくなつた、又近頃家賃の

◇…値上げ の聲に脅やかされてるばかりでなく、經濟節約上家賃の安い家に移轉しようにも移れば二割方高くなつてるので身動きがならない斯くて中產階級の生活は日一日と困窮して行くのである

讀者文藝（一口噺一等には五十錢の賞品を呈す）

一口噺『時事』

◎食客『何故こう米が騰るんでせう』主婦『食ひ潰しが多いからです』（一等） 安州 藏六庵

▲米屋の子『お父さん米の買占するこ今に燒打に遇ふよ』父『大丈夫だよ火災保險にはいつて居るから』 京城 往兵生

▲讀者『ボートの底に噛り付いて一晩夜漂流したとさ』與太『俺なら其のボートで漕ぎ付けるがな！』 京城 利川白扇

▲廉賣所の係員『一日に三度も買ひに來てはいけません』判任官の細君『併り午前中だつて一度もヌキには致しませんよ』 京城 蛇川生

□救濟會寄附

金百圓	高橋久吉
金五百圓	尹德榮
金五百圓	閔丙奭
金二十圓	金晶培
金一萬五千圓	三井物產合名會社
金五百圓	高野省三
金十圓	車基倫
金百圓	林田金次郎
金三十圓	坪內岩吉
金二百圓	老八稷
金五百圓	三越吳服店
金十圓	李聖默
金五十圓	佐野喜平次
金五十圓	山本村太郎
金百圓	淺海助太郎
金百圓	中原鐵臣
金百圓	城臺一六
金百圓	高木德彌
金百圓	李容植
金百圓	白完爀
金五十圓	金用集
金百圓	川勝支店
金二十圓	梁在爀
金十圓	赤松感一
金千百圓	鮮人某

▲本社經由（以下九口）

金二百圓	宋宅株
金百圓	山邑京城支店
金百圓	中根濚藏
金百圓	金宗國
金三十圓	申鉉宙
金五圓	拜野
金一千圓	朝鮮郵船會社
金一千圓	東亞煙草會社
金一千圓	京城電氣會社

小計金二萬二千九百八十五圓
累計金五萬八百八十圓也

▲訂正 既報寄附金中東本願寺佛教婦人法話會とあるは龍山東本願寺佛教婦人法話會と訂正す

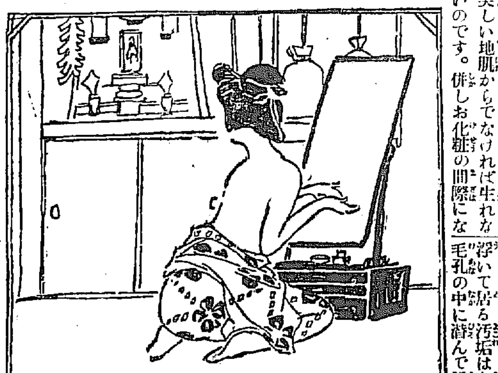
◎京城佛教慈濟會寄附 京城日報社長阿部充家氏は金三十圓、元南商會篠田太一氏遺族は金五十圓を何れも同會へ寄附せり

◇各地の白米

…二十二日小賣値段電報…

▲全州 一等卅六錢を保ち合へり

▲釜山 白米小賣値段變りなし市場手堅く商內手合せ皆無なるも安値には買註文ある模樣なり



ミツワ文庫七・八

地肌と化粧

御婦人がたの皮膚の素質 美しい化粧の生れる皮膚

松本幸四郎談

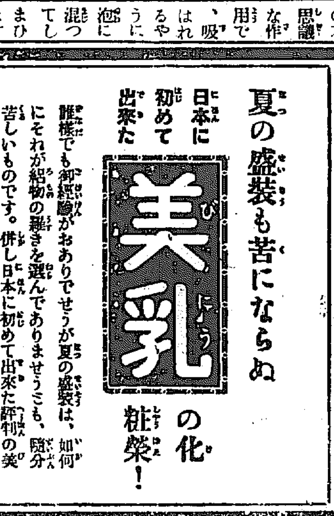
當節では化粧の方法が大層進步しまして、素人のお方にも、まことに目の覺めますやうな、水際立つたお化粧振を拜見いたしますが中にはまた、お顏の素地を塗かくすやうなお心持で、お化粧をなさいます方も、無いとは申されません。これは非常な間違で、基礎工事の不完全な建物が、兎角風などに倒れ易いのと同じく、美しく素地の整つの害ない上に施されたお化粧は、地肌と白粉とが、別々になつて居ますから、生彩を發揮する譯にまゐりませんし、永もちをさせることも出來ません。別の言葉で申しますと、美しいお化粧は美しい地肌からでなければ生れないのです。併しお化粧の間際になつて、急に地肌を美しくしようとしましても、それは無理な注文ですから、平素から心がけて地肌を整へて置きますことが、化粧の根本なのでございます。こころで御婦人の皮膚の素質は、お子供衆と同じく、大層柔軟なものですからお用ひになります洗料を、よくよく吟味なさいませんと、却つて皮膚を荒すやうなことになります。專門家に伺ひますと、理想の石鹼は不純な混合物のない遊離のアルカリも、遊離の脂肪も無い、化學上の純石鹼でありますが上に、原料に良い脂肪を使つてありまして、日本人の肌に適するやうに精製されたものでなければならないので此資格に合格するものは、有名なミツワ石鹼でございます。家業柄私共の經驗から申しましても、自由自在にお化粧の出來ますのは、全く此のミツワ石鹼を缺かさず愛用いたして居るお蔭でございます。洗顏、入浴の都度に、湯水に潤うた肌へ、等で溶きましたミツワ石鹼の雪のやうな泡を塗りまして靜かに撫でますと、皮膚の上に浮いて居る汚垢は申すまでも無く毛孔の中に潛んで居る汚垢までが、この石鹼の不思議な作用で、吸はれるやうに泡に混つてしまひますから、そこを湯水で洗ひ流しますと、汚垢は清潔さつぱり落ち盡して、皮膚の機能が健やかになり、生々とした見事な皮膚の色艶になります。ミツワ石鹼をお使ひになりました後の皮膚へ、ミツワ等の粧をお塗りになつて置きますと、皮膚は一層生々として、美しいお化粧の生れる基礎が、完全に整ひ上ります

▲市川團藏曰く 暑さの折は是非香水は無くてはならない品でございますが、厭味の無い上品な薫りのするものと申しましたならば、ミツワ三百香香水に優る品はございません。ことに此の香水によつて種類の芳香が六さはりありまして、一つ一つに見本の小壜がついて居りますから、お試しになりました上で、御自分のお好みに適つたのを、お求になる便宜があります。

醫學士小山田謙三著 家庭治療法 四六版三百三十頁

本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に敎へ、醫師にかゝるまでの親切なる相談相手となるものである。定價金五十錢。但半額（郵券代用一割增）を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區橘町丸見屋商店（振替東京七一〇番）

洗濯石鹼角形專門 角形石鹼 元祖 浦本石鹼工場 京城南米倉町二八四番地 電話二一九四番 振替京城三一三九番



夏の盛裝も苦にならぬ

日本に初めて出來た 美乳の化粧榮！

誰樣でも御經驗がおありでせうが夏の盛裝は、如何にそれが絽物の輕きを選んでありませうとも、隨分苦しいものです。併し日本に初めて出來た評判の美乳をお用ひになつてゐる方は其の獨創作用として生地から色を白く美しくするのですから汗のためお化粧崩れなどの心配は少しもなく、盛裝の美と美乳の高尙な化粧榮、そこに凉趣油然たるものがあります。

家庭では！美乳—外出の時にも美乳！

僅か一瓶で美人となる 試驗はタツタ一週間！

內科 小兒科 外科一般 婦人病 皮梅科 花柳病 朝鮮診療病院 京城黃金町二丁目（長橋通角） （入院隨意） （電話二八三七番）

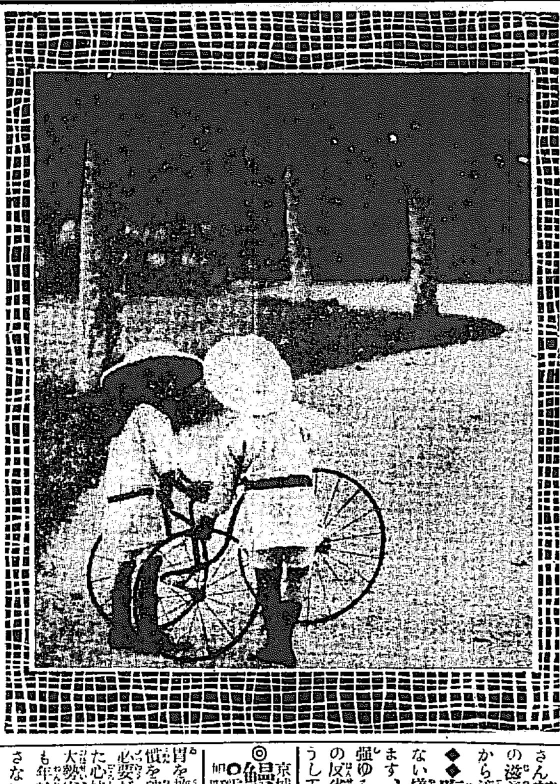
第三回提供 世界的大連續冒險大活劇 事實？諷刺？ 秘密の王國 全十五編の內五、六編上場 ◎新派悲劇 霧の雨 四卷 ◎舊劇 出雲怪談 四卷 二十三日より上場 大正館

瓦斯管 合資會社 南方商店 京城南大門通二丁目

朝鮮書畫家列傳 定價九十錢 朝鮮總督府政務總監山縣伊三郎閣下題詞 貴族院議員德富猪一郎閣下序文 元京城學校組合會議員 朝鮮總督府屬 吉田英三郎著 發行所 京城日報社代理部 京城太平通一丁目（振替京城三〇〇番）

內科 呼吸器病 小兒科 腸胃病 婦人病 今村醫院 京城若草町大通り 電話一八三一番

◇この頃の公園



子供の心

眞心で子供に對せよ
★敬愛の心を持つて見よ
‖某東京幼稚園長談

子供の心を得るのは私共が親友を作ると同樣に單に愛するばかりでなく、敬愛する事が大切です、假へば子供が『先生お早うございます』と云ふ時『お早う』などと頭をしやくつて上つ調子に申して御覧なさい、子供は次第に『お早う』を申さなくなります『先生お早う』と申して參りましたらその子供にじつと目を注いで

◇眞心　から『お早う』と叮嚀に挨拶してやると初めて滿足するのです、可愛がると、いつも頭を撫でたり嘲弄半分に物を云つたりすれば必ず子供はその人の傍に寄り附かなくなります子供は人の氣分を直覺的に呑み込むので小さい物も亦一個の人間であると敬愛の念に充ちて接する事が一番子供の信頼を得る道です又私共の幼稚園では朝の集まりをして課業に取りかゝるのですが其時

◇保姆　が少しでも身體が惡かつたり準備が惡かつたりすると決して子供等の心を集める事は出來ません、もし保姆が健康で落着いた心を持つて居れば子供等は全く自分の鏡に寫した影を見るやうに皆一樣に自分の動く通りに動き自分の

◇表情　通りに顔を動かします、これを見るにつけても母親はいつも身體を丈夫にして餘裕あるやうに精神を落着けて置かねば思ふやうな家庭教育は出來ないと思ひます、又子供が騷いだり喧嘩をしたり亂相をしたりする場合には大聲を揚げて一緒に心を苛立てゝは決して制裁がつきません、何時もよりは却つて靜かに低い聲で氣の毒だと云ふ感じを胸に抱いて口數少く其顔を凝視て居ると子供は

◇自然　に『惡つかた』と悟つて落着いて來ます、よく朋見なぞには大變亂暴な兒が居ります、例へば遊戯をしながら人を捉まへるにも尋常に捉るのでなくぐつと摑んで慘酷に振るといふ極的なのがあります、この時も子供の顔を凝視しながらほんとうに涙をこぼします、すると子供は默つて頭を下げてしまひます、これ等の子供は精力の用ゐ處を知らないのですから遊び方の

◇指導　をしてやつてその精力をよい方に導いてやると自然亂暴は止みます又冬等子供は時々小用を漏らす事がありますがこんな時こそ一層聲を低く靜かに處置してやる事が大切です、幼稚園でそんな場合すらつとした子供は『どうしたのですか』と言ふと『お小用したの』と申します『では着換へて來ませうね』と云ふと『ねゝ』と素直に保姆の云ふ事を聞きますが日頃家庭で

◇叱られつけて居る子供は叱られぬ前からわあつと聲をあげて泣き出します、斯ういふ子供は『氣の毒ですね、さあ着換へて來ませうね』と心から云つて靜かに連れて行きますと大抵泣き止みます

□萩　五の日十の日會

○萩みる女の髮かたがひこにつれたるなり　雀まろび落ちては遊ぶ萩に日めぐる　この家わが宰かたづくり萩散りゆくさ　浮碧樓

○淺黄服の糊が硬くて早朝の萩が亂れ　萩ならぬ見られる家ぬちの男が惡人とある　艇庫の裏の萩むらにかくすものよ　眞三

○大岬まで光る江で　わが前の萩　雲母換正しく深山萩が當みます　阿岐良

○憲兵署の雨量計の萩盛りなり　海あれすさまじく萩赤き日かゝる　萩にあるベンチの旅者の私の前　烏堂

一倍稼ぐか節食するか
滋養分量の多い米
世界第一の居睡りをする國‖山脇房子女史談

お米に準じて諸物價の騰る事も止むを得ない事と思ひます、さうなれば必要上もつと働かなければなりません、もつと心を引締て勉強して一圓とつてゐた者は二圓とるやうにするのです、私の

◇減食を　唱へる理由は之に基づいて出發するのです、由來日本の人は大食です、西洋人は人體に必要とする二千五百熱量を度こして量に於ての滿腹を避けます間に日本の人は生れ落ちるから御飯を澤山食なければ偉い人になれない樣に育てられます、之も或る意味に於ては然うかも知れませんが然うして必要の量を越ねて唯に腹を滿たさうといふ慾で胃を擴張さして終ひます、其の結果は働くにも懶く遲鈍になり、坐れば

◇居睡り　を始める事になります」、ですから電車の中で居眠りしてゐる人を始終見かけます、何はさて何處の國の人に比較べても日本人程居睡りする國民はないと言はれては本當に恥かしい事だと思ひます、夫れも以前はお米にはそれ程滋養分がないものと思つて居ましたけれど今日ではお醫者さん方の證明によつてお米に充分の滋養分のある事が判つたのですから適宜に食て

◇腹八分　といふ事を忘れない樣節制するのも一法だと思ひます、最も之を誰にでも強制的に強ゆる事は出來ません、心ある人の反省に俟つ丈ですが、一方に於てどうしても食料品の價値を研究して胃を擴張する迄攝取する滿腹の習慣を破つて本當に滋養のある物を必要だけ攝る事にもう少し緊張した心持を養つて欲しいと思ひます大勢寄宿生を預かつて居りましても年齡によつてはさもしい心も起さない樣或時は滿腹も

◇手心の　一つですが其必要のない年頃の者は考へて見る方がよいのです私は此際各自一人々々が上に述べた實際問題をよく見逃さない樣にして戀離すると同時に理化學の方面に研究して居られる方々は事業として特に食料品の價値及び質量を研究して一般の婦女子にも解る樣にして示して下さる事を願ひ度いのです、減菜も亦減食の中に含んで居ります

京城名物直ぐ御試食あれ
◎鰻料理と櫻壽司
◎電車は朝鮮銀行前にて御下車
旭町一丁目出雲屋　電話一二八番

萩第一夜‖五の日十の日會

○　芹　郎
自らしこやかに萱に結ぶ萩の葉なる
萩の花褪せて人の罪　深らんとすゝや
碎けた素燒のなんすかき萩かきもどにけれ
○　眞　三
酒場の女の顔を萩で打つてやれば
其夜の萩むらから出た犬が純白であつた
此處に來る此の中で姉が泣いてゐた
○　浮　碧　樓
主人を敬はぬ萩の厠ひろくも作れり
リノリウムの長廊下の盡くる白
萩の入日が障子に透りたくてならぬものを

◈湖南吟社句集
十日…し、八、一七於風骨庵

海　月

流行病に袂かぬ浦や海月浮く　寄兒
紅海月釣嶋にへこる神話哉　同
海月浮くや肬税荷揭く外ヶ浦　同
艪近く浮くや海月に時化らしき　蛙松
干潮や眠り海月の砂に殘る　同
干潟窪みに汐待つ海月乾びぬ　淡水
渦除けて舟漕く瀬戸や海月浮く　月波
上げ汐や海月重なる巖根の穴　同
亢眷な海に海月の光り兎　田月
沖釣の波うちよすや糸海月　同
逆つつる岩端に海月浮沈せり　謳村
河豚に名のある濱料亭や海月漬　桃雨
岩松に晝眠す汐や海月浮く　風骨
船火事に日黒き浪や海月うく　同

百　日　紅

一人殘る午後の殿舍や百日紅　寄兒
裏に脈す淋しき門や百日紅　淡水
百日紅荷馬な繋く女房子　同
板塀の古腐れたり百日紅　謳村
塔高う夕映美々し百日紅　同
竹伐りの梓御前るや百日紅　月波
新竈試めす合みの紙や百日紅　同
芽きかへる嗣の宿根や百日紅　田月
草刈つて石ころ殘し百日紅　蛙松
百日紅火噴鳥飼ふ鬼士　桃雨
米屋糀房の入籠殿や百日紅　同
浮氷の手拭干すや百日紅　雅淡
御札立ちし御藏屋敷や百日紅　中京
百日紅玉垣古き臥牛石　風骨
窓覗の日湖れ机や百日紅　同
誘はれ去る神域の鳩や百日紅　同

○出兵と西伯利問題　時局の進展さと共に西伯利の研究は一日も忽にすべからざる緊急問題なるが實業之日本八月十五日號『東部西伯利の富源と開發法』あり前メキシコ公使館　太田書記官の『天惠に富める墨西哥』は　外交展の好指針たり其他『世界の風に當れ』（渡戸博士）『科學的研究と人格の尊重』（浮田博士）『十大銀行會社の比較』『自動車界の大挑戰』『米國に行けるゝ生命延長法』等必讀すべき重要記事を載す（東京京橋實業之日本社）

○料理の卷　萬人向きの婦人雜誌として、家庭日常の相談相手として、東京京橋東京社より發行せる『婦人界九月號』には、愛讀者の臺所重寶として特別附錄『料理の卷』を添へたり物價騰貴の折柄安い材料で營養に富む料理法細緻しあるを以て全國婦人の御那盛なりと

○九月の少女畫報　少女の美しい心、少女の清い姿をそのまゝうつしたやうな少女畫報九月號は綺麗な口繪美しい鮮明な插畫而して面白くて有益な讀み物全く吸もさむるばかりあやに、躍り上るほど面白し（定價貳拾錢市內各書店にあり）

讀者の領分

▲朝鮮人百人以上對集して內地へ樂に同行致度官廳の許可を要するや否要するとせば道廳なるや總督府なるや御教示を乞ふ（聞庭生）▲廿日の朝七時頃僕は汽車の乘掛けに餘り荷物が多かつたので其一部を本町の鐵道小荷物取扱所へ預けたが未だ營業時間前であつたが心宜く預つて呉れた矢張り滿鐵となると總ての色彩が違ふと見える（旅行生）▲金南生に答ふ　充員召集の配當は本籍地聯隊區司令官にて取扱ふものなるに付當部にては不明に付回答し難し（憲兵司令部）▲佛式婦樣へ昨日の新聞へ御用しの記事は何か御間違ではありませんか其れは〳〵御夫婦の御心配やら御苦折は僕で見て居ても御氣の毒の樣ですがかりにも貴子ではありませんかかけて人なきづつけるものではありません（近所の住人）▲エムワイ生に告ぐ毎日短時間の配達後勉學の餘裕を與ふ希望なれば申込まれ（北米倉町朝鮮興信所）▲去る十七日の午前十一時半頃男女二人が三歲位の女の兒と共に所も有らうに水標橋通の第一樓と云ふ支那料理屋で『死加羅運』事を行て居た處が主人の支那人がぷり〳〵云つて目を白くして居たぞ實に日本人の面汚しじや無いか以後絶對に止め給へ（神國男子）▲大正三年青島攻圍軍が出征した當時は番外の一番軍人から居ちくと血判狀師の出征志願者が續々現はれ帝國の意氣る旺盛にして門外漢たる吾々も筋骨が鳴動する樣な思ひがして何となく肺肉の嘆に堪へなかつた然るに今度の出兵に對して右の如き志願者が出たと云ふ事を一つも聞かぬ是れのみか國家多事の今日到る處に於て米騷動など起して居る[illegible]社會の裏面も最面も其の相を離することが出來ないから實に杞憂に堪へぬ公平なる貴紙に依つて大に人心の覺醒を望らん事を希ふ（議政府道峯山生）▲好鮮生に告ぐ始めの三箇月間は朝鮮語の大體を或る夜學校にて修得し其後は自宅にて獨習致して居ります而して誰か好き勉強相手はなきかと常に心に思ひ居りますかですからよければ御出下さい若し自分で及ばざれば猶他の知人を紹介します（京城西部義州通二丁目百二十二番地宋榮世方逖生）

◎浦鹽自由港說

長期の戰爭に因つて破壞せられたる露國の經濟狀態は革命後引續け[illegible]る者あるも此機關を利用する方法を講ずる事なく[illegible]隱匿死藏するの傾向を生じ爲に總ての生產工業[illegible]港とし關稅を撤廢するか又は或程度の制限を附して外國より物資の供給を仰がざる可からずとの意見[illegible]見たり

木材界の昨今

[illegible]山出材の市場出廻り全く不能の有樣なれば更に強氣配材料にて此處暫くは低落步調を見るが如きことは至つて強調のみならず品不足勝ちにあり北滿材は二圓十錢より長尺物十五六錢二十錢見當なるが古[illegible]は滿洲に於ける製材力の不充分を意味するものなるべし尙ほ北滿及び米松も昨今北滿材高に[illegible]中なりしが造船材料たり得る四十呎以上の長尺物は全く輸出不可能なるも南鐵製車材料たる三十四[illegible]きものなるが如し

課題及募集規定

□募集規定　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に[illegible]は匿名の外に住所氏名明記の事[illegible]

最上清酢
日本一
マルカン印

ほまれ味噌

上醬油
日本醬油株式會社
京城出張所
電話二四五番

京城龍山等各地に僞物有御注意
◎りん病ばい毒患者諸君
▽にせドラグあり御注意
近來東京其他各地に僞ドラグ現り購着せられざる樣御用心あれ當京城にも來る好商あり
好商なり
本舗大阪 ドラグ商會
京城南大門外停車場通
花柳病專門藥房 ドラグ商會
京城黃金町三電車通 大阪ドラグ商會
龍山兵營前停留所 同

大連醬油
特約販賣店
仁川 河野本店
京城 同支店
木浦 阿逸儀商店
同 山口號本店
同 山本酒店
群山 山口號支店
同 長谷川商店
釜山 增永商店
同 山邑支店
鎮南浦 吉富商店

時計貴金屬指輪眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る
三浦天龍堂
京城本町二丁目

京城の名物（京城南大門通三）
カフエータイガーの洋食とアイスクリーム

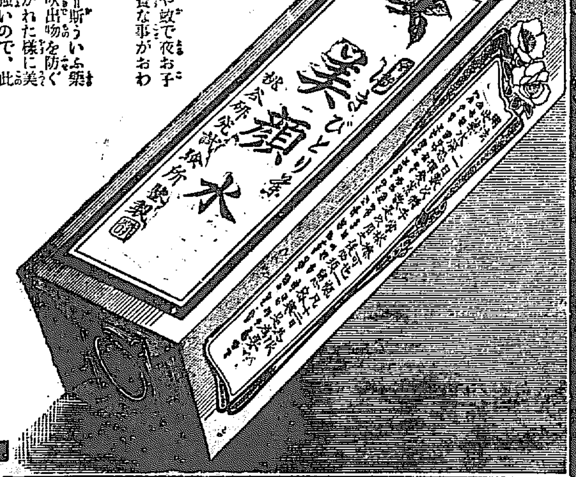
ハーミサン
一個十錢　十個四十錢
二十個七十錢　一個十五錢
一個二十五錢
りん病
急性慢性淋疾に最新藥
一日分十錢
京城本町
京城黃金町

男女粹草紙
珍本
▼情界歷戰の勇士速かに愛讀せよ
▼天下第一の珍本
▼女交遊法（略）
▼美人粹狀六枚入
粹書
▲少女（略號レ）
▲美本五十錢
送料共一圓にて密送す
東京神田區西小川町
振替東京二一七六四
大美堂

花柳病專門
外科
梅毒・痳病・泌尿生殖器病
睾丸病・肛門病・皮膚病
婦人病・神經衰弱
京城南大門通農工銀行裏
606
司生堂醫院
電話三〇六五番

宮內省御用品の眞價は既に社會に定評あり
スワン萬年ペン
到所の文具店に目下競爭販賣中買入の御用命目錄無代進呈
大阪東區平野町一丁目　スワン大阪出張所

七日ツケタラ鏡ヲごらん色白くなるゲンソ液
小壜二十錢　德用四十錢
今東京で大評判の色素波色黑き顏赤き顏日ヤケ白粉ヤケアレを防ぎ眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり
東京新川和泉橋際　松本藥店

盤若の如き
強健なる體軀を見よ!!
是れ皆朝夕の一杯は百藥に優る
美味滋養の葡萄酒
赤玉ポートワイン
の
偉大なる賜!!
夏の今
特に斯の如き人は
赤玉ポートワインを召上れ!!
■夏瘦する人
■食事の進まぬ人
■元氣衰退の人
■病氣保養の人
■疲勞する人
キツト利目がある

にきびとり
美顔水
心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衞生藥
（一）ニキビ、吹出物＝婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありませんが、此藥は頑固なニキビや吹出物に對しても奇效を奏しますので信用を博して居ります。
（二）蚤、蚊、南京虫＝其他毒のある虫に螫された時、此藥を附けますと、不愉快な痛さ痒さを覺えず、螫された、跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時等此上ない重寶な事がおわかりになります。
（三）皮膚を美しくす＝斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれ磨かれた樣に美しくなり容貌の美を增す力が強いので、此藥は心ある家庭には常備せられて居ります
（定價特大瓶壹圓・大瓶五拾錢・中瓶廿五錢・小瓶拾貳錢）
（東京・大阪）
發賣元　桃谷順天館